

出席委員 岩城委員長 大浦副委員長 脇坂委員 青山委員 角川委員 竹原委員  
尾崎委員 古沢委員 中川委員 高橋委員

欠席委員 なし

説明のため出席した者 石坂総務部長 網谷産業民生部長 岩城建設部長 藤田産業民生部理事 菅沼会計管理者 澤口建設部参事 結城市民健康センター所長 黒川農林課長 石川市民課長 石川福祉介護課長 長崎商工水産課長 高倉まちづくり課長 荒俣公園緑地課長 長瀬上下水道課長 奥村財政課主幹 石坂生活環境課主幹 小川観光課主幹 北島建設課主幹

職務のため出席した事務局職員 藤名局長 永田主幹 山本主事

午前10時00分開会

**岩城委員長** 全員そろわれたようでありますので、若干早いようですが、決算特別委員会の2日目を開催いたしたいと思えます。

本日の議事日程は、お手元に配付してあるとおりであります。

日程第1、付託案件、議案第55号 令和元年度滑川市一般会計歳入歳出決算認定についての審査に入ります。

説明及び質問される方々には、以下のことを特に留意してください。

まず1つ目、要点を簡潔明瞭に説明してください。数字等記載事項の読上げのみの説明は控えてください。

2つ目、質問は的確に、答弁は分かりやすく、場合によっては資料の提出を求めるところもありますので、ご理解願いたいと思えます。

3つ目、前年度決算額に対して大幅に決算額が増または減となっている場合は、その理由を明らかにしていただきたいと思えます。また、不用額の大きいものについても、その理由を述べていただきたいと思えます。

4つ目、昨年と同様に、前年度の「今後改善を求める事項」で指摘された箇所について、その対応状況等を各担当課の説明前に担当部長から報告をお願いいたします。

委員の皆さんには、「指摘事項」等を、11日の審査に係る分と本日の審査に係る分に

については明日の審査終了時までに取りまとめ、委員長のほうへ提出をお願いしたいと思います。

また、本日の審査終了後に現地視察の場所について協議をいたしたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

資料の提出がございますので、当局から説明があればお願いいたします。

**永田主幹** 先日、金曜日にお配りした資料について、まちづくり課のほうよりA3の資料の差替え依頼がございましたので、本日お手元にお配りしたものと差替えをお願いいたします。

あと、未提出でありましたコミュニティバスの修繕料について資料の提出がございましたので、これもお配りしてあると思いますので、よろしく願いいたします。

以上です。

**岩城委員長** では、本日は審査日程のとおり行いたいと思います。当局から説明を求めます。

まず、「今後改善を求める事項」で指摘された事項についての対応状況等の説明からお願いをいたします。網谷産業民生部長。

[「今後改善を求める事項」の対応状況等の説明 網谷産業民生部長<説明省略>]

**岩城委員長** では、一般会計の歳出に入りたいと思います。

第2款総務費、第3款民生費、第4款衛生費、石川市民課長。

[歳出 2款 総務費 戸籍住民基本台帳費 P80～81 石川市民課長<説明省略>]

[歳出 3款 民生費 社会福祉費 国民年金費 P98～99 // <説明省略>]

[歳出 4款 衛生費 保健衛生費(市民健康センター) P108～115 結城市民健康センター所長<説明省略>]

**岩城委員長** では、質疑に入りたいと思います。

挙手をお願いいたします。

**青山委員** 110、111ページの先ほど不用額が出た報償費、不用額41万3,700円のところで、大きなところでは産前産後安心サポート事業費で講師依頼が減ったということで、これは予定されていたものの呼ぶ機会を逸したということでしょうか。こういったことなん

でしょうか。

**結城市民健康センター所長** 実は講師としてお願いを想定していた方がよその職場のほうに替わられてしまいまして、講師としてお呼びすることができなくなったことが理由でございます。そのため、年度任用職員の助産師でありますとか職員の保健師で対応するといったことで事業を運営してまいりました。

以上です。

**青山委員** そしたら、予定していた方はそれなりの報酬だったけど、自前で結局、会はやったけれども、講師は要らなくなった不用額が出てきたよということで、内容は別段問題なかったんですか。やはり質が落ちたとか、そういったところは大丈夫だったんでしょうか。

**結城市民健康センター所長** 年度任用職員でお願いしている助産師の方も臨床の場での経験をお持ちでしたり、依頼していた方をお願いするような内容をそのまま引き継いで教室を行っていただきましたので、特に質の低下等は心配ないと思っております。

以上です。

**青山委員** そうはいつでも、しゃべるのが上手な方と下手な方、実務をやられていて、いわゆるその内容に精通している助産師さんであっても、やはりしゃべるのがうまい、下手というのも当然講師の人との差が出るでしょうから、せっかくつけた予算ですので、やっぱり執行をできるだけ、これは前年度だから今年度はやっていただければいいと思っております。これは要望です。

**古沢委員** 決算書で言うと111ページ、13節の母子健康診査委託料に関わってですが、主要施策報告書の40ページでは母子健康診査の実績が掲載されているんですけども、4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診とそれぞれあるようですけども、それぞれ対象になっている子どもさんは全て健診を受けておられるということなのか、そこら辺を確認したいと思うんです。よく全国のニュースで、子どもさんに対するいろいろなネグレクトとかが、健診を受けていないということがきっかけになって分かるということもあるとお聞きするものですから、そこら辺をちょっと確認したいと思います。全員受けているものですか。

**結城市民健康センター所長** 母子保健法で位置づけられております、まず4か月児健診ですけれども、こちらのほうの受診率は98.3%です。また次に1歳6か月児健診につきましては99.6%、3歳児健診につきましては99.7%となっております。

健診会場に来られない方につきましては必ず個別での支援ということで、成長の確認でありますとか100%関わるようにいたしております。

以上です。

**古沢委員** 100%捕捉と言うと言葉は悪いけど、確認されているという理解でいいんですね。

**結城市民健康センター所長** はい。

**古沢委員** ありがとうございます。

これはちょっと確認なんですけども、出していただいたデータで特定健診の受診率とかがん検診の受診率とかを別に頂いているんですけれども、主要施策成果の別冊45ページのところにも、胃がん検診とか肺がん検診とか、がん検診の延べ人数が書いてあるんですけれども、がん検診そのものは人数が載っていないんですね、別紙のほうには。出していただいた数には。特定健診とか後期高齢者の受診率のほうは受診者の数が書いてあるんですけど、がん検診のほうは受診率であって、受診人数とか件数とかはないんだね。これは符合しているのか。

**結城市民健康センター所長** 受診率のほうだけを掲載しておりますして申し訳ございませんでした。今、口頭で受診者をお伝えしてもよろしいでしょうか。

**古沢委員** はい。

**結城市民健康センター所長** がん検診の受診者は4,855人です。胃がん検診につきましては3,133人、大腸につきましては3,606人、子宮検診につきましては1,603人、乳房検診につきましては1,459人となっております。

**古沢委員** この数字そのままやね。

**結城市民健康センター所長** はい。

**古沢委員** 肺は3,943でいいんですか。

**結城市民健康センター所長** 今お伝えした数字は、健康増進法、40歳以上のデジタルCTを含む全ての受診者数でお伝えいたしましたので、若干数字の移動があります。

**古沢委員** 何が違うのか分からない。例えば胃がん検診だと、主要成果報告書のほうには令和元年度は延べ人数だけど2,556人となっているんですよ。先ほど答えていただいた数字で言うと3,133人というふうにおっしゃったと思うので、この差はどういうふうに理解したらよろしいんでしょうか。

**結城市民健康センター所長** 私が総数で今お伝えした人数に主要施策の2段落目のGO!

5・0！クーポンの人数が入っておりませんので、GO！ 5・0！クーポンの数字を足した形が先ほどお伝えした数字になります。

**古沢委員** そしたら、下の例えば胃がん検診で言うと、無料クーポン券で受診された方は胃がん検診で577と。これを足せばいいということですか。

**結城市民健康センター所長** そうでございます。

**古沢委員** 言うのは簡単で実際はなかなか難しい話だということは承知の上でなんですけど、がん検診の受診率でいっても、このクーポンを入れてもやっぱり50%ってなかなか超えられない。胃がんは辛うじて50.4%みたいですけども、そのほかの受診率はなかなか50%に行かない。今の場合は特定健診は違うのかもしれないけど、特定健診についてもなかなか計画どおりにはいかないというところで、ご苦勞は十分承知をしているつもりですが、画期的に上げられる方法はないのかもしれないけど、さっき部長に答えていただいたとおりの勸奨を、手を変え品を変えいろいろやっていたらと思うんですけども、全県的には滑川市の受診率は結構高いほうだというふうに私は認識しておったんですけど、現行も高いほうだということには変わりありません？

**結城市民健康センター所長** 直近で出されております県内の市町村別のがん検診受診率の統計では、滑川市は胃と大腸が県下1位であります。肺がんは県下5位、子宮頸がんは7位、乳がんも7位ということで、胃と大腸につきましては他の市町村よりも受診率としましてはかなり高率の受診率です。

**古沢委員** 勸奨だけでは難しいがかなという気が。やっぱり自分の問題として捉えてもらうには何が必要なかなというふうなことを常々思うんですけど、もう一工夫、二工夫が要るのかなと思っているので、言うほうは簡単なのは分かるとるがやけど、やられるほうは大変だとは思いますが、引き続きよろしくお願ひしたいと思ひます。

というのは、せんだって頂いた県の資料でいうと、あれは国保だけかもしれないんですけど、滑川市の診療費は高かったんですよ、県下でも1人当たりの。やっぱりこれは全体を抑えるとか医療の受診抑制じゃなくて、早いうちに発見をする。特にがんでいうと早いうちに発見をして軽微なうちに治療に取りかかることが、結局は医療費全体を抑制することにつながるというふうに私は思っているんで、ちょっとしつこいようですけどお願ひしたので、よろしくお願ひします。

**結城市民健康センター所長** がんのクーポン券につきましては、例年50歳から5刻みで75歳までお出ししておりますけれども、どの年代の方の利用率が低いかということを分析

いたしまして、前年度の低かった方に次の年度に受診強化をするといったような形で案内を出しております、そのようにいたしますとやはり反応はございますので、そういった検診実績からの分析も見ながら、強化するところのターゲット層をまた見極めながら、引き続き取り組んでまいりたいと思います。

**古沢委員** よろしくをお願いします。

**尾崎委員** 115ページの上から2つ目、7節の賃金、813万7,000円に対して不用額が377万何がしということで、約半分、46%になるのかな。これが何かすごく多く目立っておるんですけど、この理由は何でしょうか。

**結城市民健康センター所長** 人件費のほうは総務課のほうでの予算づけでもあるので口頭での説明なんですけれど、元年度に子ども未来サポートセンターの運営費のほうが事業の新しいものとして始まりました。その予算時において、そのこのところの人件費とここに入っていた方、1人の方なんですけれども、総務の人件費で見てあった分と少しかぶる部分があったということで聞いております。

**尾崎委員** ということは、もともとこの予算を計上した時点で重なりがあったということですね。

**結城市民健康センター所長** この人件費のところは健康センターのほうで直接予算のほうを編成しておりませんで、申し訳ありませんが。

**尾崎委員** これ以上結城さんに言っても駄目だという話ですね。分かりました。大体分かったのでいいです。

**大浦副委員長** 111ページですけど、単純なことばかり聞くんですけど、富山地区広域圏緊急医療負担金なんですけど、これは去年より大体30万以上上がっているんですけど、これはどうして上がったんですか。

**石川市民課長** 富山地区の広域救急の医療負担金につきましては、県内の15市町村で分担させていただいておる負担金でございます。

基本的には、当該年度におきまして負担額割り振りの中で増額とされておるものがございます、多分設備投資絡みの中で増になっているものと認識しております。

**大浦副委員長** これは毎年負担金って上がっていつているんですか。

**石川市民課長** 毎年上がるとかそういうことではなくて、そのときに必要なものを15市町村で分担しておりますので、一昨年よりも昨年が多かったということがございます。

**大浦副委員長** 同じ負担金、補助金のところなんですけど、不育治療の助成金なんですけ

ど、これは一般質問でも上げましたけど、30年度と元年度で3件ずつなんですけど、これはもともと予算段階で何件予想されていたんですか。

**結城市民健康センター所長** 不育のほうの治療費につきましては1件ですけれども、不妊の拡充事業費の中での流用ということでやっております。

**大浦副委員長** 1件ということは、この限度額の30万円ぐらいの予算で見ていたのか、それとも本当に件数1件というもので見ていたのか、どちらで見ていたんですか。

**結城市民健康センター所長** これは県の補助も入っております、上限が補助金として15万円というものなんですけれども、これまでの実績につきまして、それほどまでの助成申請というのが実際のところ発生しておりません。それで、1件枠の15万円を見ておくことで、1件を見ておくことで、その部分を複数件ありましても対応できるという考え方でやっております。

以上です。

**大浦副委員長** その不妊治療費の助成金に関しても、お話を聞いていると右肩上がり状態になっているということをおっしゃったんですけれども、これも件数的には予想された件数、元年度で73件で30年度より4件増えて、決算額も当然増えているんですけれども、これも大体想像どおりということなんでしょうか。

**結城市民健康センター所長** 今、不育治療のことでおっしゃっておられますか。

**大浦副委員長** 不妊治療の。ごめんなさい。

**結城市民健康センター所長** 不妊治療のほうですか。

こちらのほうも実はちょっと年度によりまして、推移を見ておりますと増減はあるんですけれども、多少の増減につきましては流用等の対応で行っていくということで、近年はこの予算で編成しております。

**岩城委員長** よろしいですか。

(質疑する者なし)

**岩城委員長** 次に進みたいと思います。

第3款民生費（福祉介護課分）、石川福祉介護課長。

[歳出 3款 民生費（福祉介護課分） P 88～109 石川福祉介護課長（説明省略）]

**岩城委員長** では、質疑に入ります。

**大浦副委員長** これは毎年聞いているんですけど、97ページの委託料のほうのゲートボール場指定管理料なんですけど、稼働率を知っているか分からないんですけど、随時人がいる状況なんですか。

**石川福祉介護課長** こちらについては、やはり利用状況を勘案しまして、半日程度に抑える曜日とかを設けたりして減額を図ってきたところなんです。ちょっと今、資料を手持ちしていないので、週に何、何日分かが、ごめんなさい、ちょっと分かりません。

**大浦副委員長** ゲートボール場の利用者って、事前に予約を取った方だけの対応で、フリーで急に来られる方っていらっしゃるんですか。

**石川福祉介護課長** ほとんどグループでいらっしゃいますので、ほぼ予約を取られて来られるような状況です。

**大浦副委員長** そしたら、予約がない日はそこに人がいることはないということですか。

**石川福祉介護課長** 予約がなくても、決められた曜日に対しては電話等の受付もありますので来ております。

**大浦副委員長** 何かそうしているのかなと思って質問したんですけど、だと、例えば予約であったりとかの電話の対応を、その場所じゃなくてほかの指定管理に入っているところに直接かけてもらえば、そこに人件費を割く必要はないんじゃないかなと思うんですけども。

**石川福祉介護課長** ただ、一応今までの利用状況を勘案して、あまり予約が入らない曜日は来ないことにしたりとか午前中だけにしたりとかということで勘案した上での今の状況にはなっております。

**大浦副委員長** 忘れたんですけど、この工事、屋根改修ってどんな屋根改修の工事でしたっけ。

**石川福祉介護課長** 雨漏り修繕でありまして、前回、平成25年にも雨漏り修繕しているんですが、そのときにはゴムの部分を取り替える、コーキングしたりとかというような修繕だったんですけど、それでもまだということで、今回は業者さんと協議をしまして、そこを鋼板で押さえるような形で修繕をいたしました。

**大浦副委員長** 300万円が多いか少ないかは別として、やっぱり稼働率がすごく悪いという印象を持っているんです。それで、指定管理料に対してと、あとこの改修費に関しても、今年度決算で大体費用が600万かかっているわけですよね。それに対する効果がどうしてもちょっと弱いような気がして、今後のゲートボール場に関しても、まだ当然劣化



はしていくので、今後も屋根以外の改修とか、例えば照明であったりとかも出てくる可能性があるんですけど、そういったことは随時やっつけていかれるんですか。

**石川福祉介護課長** 今後どうしていくかということについては、まだ結論は出ておりません。

**大浦副委員長** 屋根改修に関しては、これは利用者からの要望で出てきたものなのか、それとも指定管理者からの要望で出てきたものか、どちらでしょうか。

**石川福祉介護課長** 私が来る以前だったものですから把握していませんが、恐らく両方からだと思っております。

**藤田産業民生部理事** ゲートボール場の屋根改修については、利用者のほうから風雨が強いときに雨漏りがして、土面といいますかコートが傷むということで再三要望がありました。

可動式であるという点でどうしても隙間があるということで、これについてはなかなか対応し切れないという話をしておりましたが、抜本的にということで、先ほど課長が申し上げたとおり、鋼板でその隙間を止めたということでございます。

以上でございます。

**大浦副委員長** 私、ここをたまに見に行くんですけど、やっぱり屋外にもあるんですよね。草刈りなんかも割としてあつたりとかするんですけど、実際、屋外ってほとんど使っていないんですよね。そしたら、例えば草刈りなんかもシルバーさんが入ってやっていらっしゃるのかなと思うんですけど、使っていないところを刈ることもお金の使い方としてすごくもったいないなと思ったりするので、これは多分、公共施設の個別の計画になってくると思うんですけど、今後の在り方というものをまた検討していただきたいというふうに思います。

**藤田産業民生部理事** 今、大浦委員がおっしゃられたとおり、ゲートボール場については寄附を受けて当初から運営していたという経緯もあつて、あるいは今現在も利用者がおられるということで利用を続けておりますが、言われるとおり利用者が減っておりますし、多目的に利用できないかといったことも含めて検討課題となっております。

過去には人工芝を張って多目的にできないかと、そういったようなことを実際見積りを取ったりしたこともありましたが、ゲートボールの利用においては人工芝はあまり好ましくないといった団体の意見もあつて、今現在に至っているところです。

引き続きといいますか、公共施設の検討の中でしていかなければならない課題となっ

ております。

以上でございます。

**岩城委員長** そのほか。

(質疑する者なし)

**岩城委員長** では、次に行きたいと思います。

第2款総務費、第4款衛生費、第7款商工費、第8款土木費、石坂生活環境課主幹、  
お願いいたします。

[歳出 2款 総務費 総務管理費 安心安全対策費 P74~75 石坂生活環境課主幹〈説明省略〉]

[歳出 2款 総務費 バス運行費 P88~89 // 〈説明省略〉]

[歳出 4款 衛生費 保健衛生費 環境衛生費 P114~117 // 〈説明省略〉]

[歳出 4款 衛生費 保健衛生費 公害防止対策費 P116~119 // 〈説明省略〉]

[歳出 4款 衛生費 清掃費 P118~121 // 〈説明省略〉]

[歳出 7款 商工費 商工費 商工総務費 P134~137 // 〈説明省略〉]

[歳出 8款 土木費 道路橋梁費 交通安全施設費 P152~155 // 〈説明省略〉]

**岩城委員長** では、質疑に入ります。

**竹原委員** 89ページのバス運行費をお願いします。

需用費のところから昨年から200万余り減りましたという報告がありましたけど、不用額でカツカツの942円ということで、ここにある修繕料430万余り、今朝ほど頂いた修繕料の昨年比較を見させていただいても、もしかすると専決処分になりかねない事案があったのではないかと、あるいは補正を組まなければならない事案があったのではないかと、という思いがするんですが、この修繕料についてのカツカツ感、これについての見解はどう思われますか。

**石坂生活環境課主幹** コミュニティバスの修繕につきましては、やはり毎日の運行ということで、突発的に起こる度合いが非常に高いということで、いつ何どき修繕をしなきゃならないということもございます。

ただ、今現在のところそれほど大きな修繕もなく、また、基本的に資料としてお渡しさせていただいた修繕料につきましては、この大半が経過年数を経た古いバスということでございまして、このうちの1台は廃車ということになってございまして、今現在バ

スの運行としてはございません。残りについてはまだ購入してから年数もそれほどたっていないということもございまして、あまり大きな修繕料は出ないものというふうに考えてございます。

以上でございます。

**竹原委員** 今ほど、平成30年度に予備車として使っていた1405が廃車になったから100万円ほどできましたというお話でありましたけど、そもそも数年しかたっていない、昨年も同じ質問をしましたが、2031と2130って同時に納入されたバスですよね。何で2131が昨年、修繕費が多かったんですかって聞いたら、やっぱり山間部を走っているから、ちょっと負荷がかかって壊れやすかったということなんですけど、結局、昨年を見ていると、2130の番号のほうもトランスミッションを交換したとか、結局同じ年式で同じ症状が出ておるということは、これは中身的にこのメーカーの部品が悪かったということをちゃんと認識されたほうが私はいいと思いますよ。このふそうのバスというのは外国製のエンジンですから、トランスミッションも含めて、入札で安くなりましたと言って、先ほど使用料のところで入札残で安くなりましたと言っていますけど、どれだけ入札で安くしてバスの納入を新車でしても、行く行く修繕料でかかる。犬で言ったらセントバーナードみたいな後からお金のかかるようなものを喜んで買うというのは、私は1回再考されたほうがいいと思います。

例えば、新車で買うのではなくて、じゃ、リースにしたら幾らかかるんだろう、リースにしたら修繕料でどれだけの価格の違いがあるんだろうというものも考えていただいて、どうせ言うのは、いつも4WD、4WDと言いますが、4WDといたらバスは1社しかないがですよ。そしたらもう半分定価で買うようなものですよ。競争は生まれないので。そしたら、後輪駆動のバスをほかのバス会社が何社かありますから、そこからちゃんと適正な入札で、国産で中身のいいものをぜひ選んでほしいというふうに思います。これは意見にさせてください。

**古沢委員** 私、認識不足で申し訳ありません。決算書でいうと119ページ、各種公害防止対策でいろいろ調査しておられますよね。これは報告みたいなやつを何年かに1回ずつ出しておられたやに覚えているんですけど、海域水質底質分析というのも、これは定期的に載せていただいていたんですけど。私の認識不足ですみません。

**石坂生活環境課主幹** 今ほどのご質問でございますけれども、3年に一度冊子をまとめてございまして、「滑川市の環境」という冊子なんですけれども、これの第15号を年度末に

作成いたしましたので、こちらのほうを議員さん方にもお渡ししていなかったでしょうか、これ。

**古沢委員** 多分もらっているんだと思う。

**石坂生活環境課主幹** こちらのほうに一応そういった調査した結果を記載してございまして、先般の議会のほうでもありましたように、この冊子だけではなくホームページのほうにも記載するようというふうなご要望もありましたので、そういったようなものも今後対応していきたいというふうには考えてございます。

以上でございます。

**古沢委員** 言っていただいたとおり、せっかくお金をかけて調査しているわけだから、広く目に触れるようにお願いします。

**石坂生活環境課主幹** はい。

**中川委員** コミュニティバスですが、昨年よりも4,000人ぐらい減ったというようなことを今聞いたのですが、原因としては天候の加減でと言っておられたけど、私はそうじゃないと思うがですね。乗務員のサービスが一番問題ではないかなと。

私の耳に聞こえてくるのは、ともあれ運転が乱暴、言葉が乱暴。ばあちゃんたちはこの言葉に弱るが。こういうのを聞いたことはあるがですか。調べたことはあるがですか。

**石坂生活環境課主幹** 今ほど委員おっしゃられました件につきましては、以前も同じようなお話をいただいたこともありまして、運行委託業務をしてございます会社にも聞き取りをいたしまして、また、こちらのほうからそういったようなお話をいろんなところからお聞きするので、運転手の対応については十分気をつけていただきたいというような注意、指導を何回かさせてはいただいております。

以上でございます。

**中川委員** 減った分を委託先からもらえばいいがないがけ。勝手に減らしたんやから。どうや。

**石坂生活環境課主幹** 乗車人数が減った原因といたしましては、これだという確たる証拠はちょっとないものですから、そういったものを業者のほうに求めるのもなかなか難しいものというふうに考えます。

以上でございます。

**中川委員** 私はやはりコミュニティバスの運行をしておる会社がどれだけ社員教育をしておるかの問題だと思う。魚津を見てみられ。全然違うが。1回魚津のコミュニティバス

乗ってみられま。どういう対応をされるか。私らよそのところも見てこないと駄目だと思う。もっと委託先にしっかりと伝えて、もし駄目なら落としてしまわんにゃ駄目だ。競争相手がおらんがかどういがかよう分からんがですが。

**石坂生活環境課主幹** また委員のおっしゃられたことも参考にさせていただきまして、今後よりよいコミュニティバスの運行に努めたいというふうに考えてございます。

以上でございます。

**尾崎委員** 75ページの15節の工事請負費、防犯カメラ設置工事ということで、先ほどの説明では市内9か所という説明でありましたが、この9か所はどこに設置されたのかということと、それと、これはいわゆる地域のほうからの要望に基づいてその9か所、これは決算だから、例えばここで要は360万計上されたのも、やっぱりこれを見たら10か所ぐらいの予算じゃないかなと、計算したらね。そういうことだろうとは思いますが、設置するルールがどうなっているのかちょっと聞きたいんですけど。

**石坂生活環境課主幹** 今ほどのご質問でございますけれども、まず設置場所につきましては、まず国道8号でございますけれども、国道8号の地下通路ですね。野町、上島、北野にそれぞれ設置してございます。また旧の8号でございますけれども、こちらも地下通路でございますけれども四ツ屋、柳原、上島のほうに設置してございます。そのほかにスポーツ・健康の森の駐車場でございますけれどもこちらのほう、それと東滑川駅前、あいの風でございますけれども、そちらの東滑川駅前のほうにも設置してございまして、あとは有金の運動公園の駐車場のほうにも設置してございます。これで9か所設置してございますけれども、設置した条件ではないですけども、設置した要件でございますけれども、基本的に地元の要望もあるんですけども、まず公共性が高く、かつやはり防犯効果の高いところで町内等が設置しにくい、市のほうで設置せざるを得ない緊急度の高いところということで警察のほうと協議いたしまして、そちらのほうに設置することを選定させていただいております。

以上でございます。

**尾崎委員** 国道の地下通路って国交省の管轄になって、そういったところの管理責任というのは国交省なんだろうと思うんですよね。そういうところに防犯カメラを設置することは、例えば今はこれは市の予算でやっているわけですけど、その辺はどうなるのかというのは、それは国が設置するものではないのかなと思うんですけど、どうなんですか。

**石坂生活環境課主幹** 今ほどのご質問でございますけれども、まずはやはり近年、通学児

童を狙った凶悪な事件が相次いで発生しているという緊急度が高いということと、今ほどおっしゃられましたように、国道ということであれば国が設置するということがまず基準ではないかというのは十分考えられます。

こちらのほうから一応国のほうにもそういったようなお話をさせてはいただいたんですけども、国のほうは過去に前例がないということで、設置することについては非常に消極的でございます。最終的にはこちらのほうの思いもありましたので、こちらのほうで国交省と協議させていただきまして設置するということになりました。

以上でございます。

**尾崎委員** ということは、要するに国はそういう先例がないからやりませんと。だったら、あんたらがつける分にはどうぞつけてくれというスタンスで許可を出しますみたいな、要はそういうことなんでしょう。管理をしなきゃいけないのは国なんですからね。そういうことなんでしょうか。

**石坂生活環境課主幹** 国のほうでは、なかなか両手を上げてぜひつけてくださいという対応ではございませんでしたので、つける理由ですとかつける構造ですとか、そういったものを非常に詳しく吟味されまして、それで国交省のほうの一応意にかなった状況としてつけさせてはいただいたんですが、ただ、設置した防犯カメラの管理につきましては、やはり設置した滑川市が管理することになります。

以上でございます。

**尾崎委員** 私が聞いているのとちょっと違うような。他市町村、やっぱり同じ国道の地下通路に防犯カメラというのは、これは確認しなきゃいけないのであれですけど、中には国が設置したところもあるやに私は認識しておるので、それは確認させてもらって、また個別で話させていただきます。

**青山委員** 先ほど89ページで中川委員もおっしゃっていましたがコミュニティバス運行業務委託料の中で、私もちょっとこれは厳しく話したいなと思うんですけども、やはり4,000人減っているところの市の見解が、晴れたからとか雨が降ったからとかというのはいかなものかなと思うんですけども、その辺をちょっとお聞かせください。

**石坂生活環境課主幹** この人数の減少なんですけれども、ほかの市町村でもやはり同様に大きく落ち込んでおりまして、情報交換ではないですけども、ほかの市町村と情報のやり取りをする中で、やはりほかの市町村も同じような見解を示しているのと、あともう一つは、これもちょっと確証はないんですけども、近年の労働人口の減少に伴いま

して、高齢者、60過ぎの方がまだ退職ができない、勤めなきゃならないということで、実際免許を保有される方というのは増えていってはいらぬですけども、例えば免許を返納して公共交通に頼って移動しようかという方が、普通であれば高齢者人口が増えるとともに一緒に増えていかなきゃならないんですけども、そういった方が免許を保有したまま車に継続して乗られるということもやはりあるのではないかなというふうに思っております。

以上でございます。

**青山委員** 本来ならいわゆる公共交通に頼らなければいけない年齢の方がまだ仕事をされているから、それなりに伸びていないんだらうという話なんですけれども、先ほどの一番最初の話だと天候に左右されたと言われていて、よくここで商売をやられている方もあれなんですけども、例えば雨が降ったら、雨が降っておるから外に出んがらうと。だから売上げが上がらんだって。晴れたら晴れたで、どこかほかのところにみんなで家族で出ていったんだらうと言って売上げが上がらんだって。いわゆる天候、外的な要因で物事を物差しで話すると、全くこれは改善にならないんですよ。

今7万八千何がしの人数が年間使っていらっしやって、1日ですよ、延べ214人で、行き帰りを考えても107人ですよ、単純に。市内3万3,000のうちの107人という見解をどう思われますか。

**石坂生活環境課主幹** 意図しているこちらの目標ではございませんので、やはり少ないと言わざるを得ないというふうに考えます。

**青山委員** 私、思うのが、やっぱりまだ一度も乗ったことのない方が多分いっぱいいらっしゃるんだと思いますし、今、SDGsのほかの話もそうですけども、マイカーでお出かけするというのは、富山県というか地方都市はほとんどそうなんですけれども、これを啓発するために、他の市町村を見ていてどういう方法があるというのをまた調べていただいてもいいんですけども、やっぱり自発的に例えば「のる my car」の日みたいなのをつくってみて周知していくというのが一番最初なんじゃないかなと思うんです。

これをこのまま、例えば年間4,000人減って来年も4,000人減ってって、そんな右肩下がりに下がるとは思っていないですけども、年々下がっていく中で、全部例えば外的要因を問題視していたら、この3,300万円の委託料が全く無駄になってくると思うんです。その辺に向けて、今みたいに例えば話とかいわゆるイベントだとか、そういったも

のって何か考えられないですかね、今後。

**石坂生活環境課主幹** 今ほど委員おっしゃられましたように、やはり啓発活動は重要だというふうに思われます。

この先なんですけれども、コロナの関係で実際開催できるかどうかは今のところ断言はできないんですけれども、この後キラリングルメの森が開催されますけれども、そのときに合わせて環境フェアを生活環境課のほうで開催するんですけども、そちらのほうにバスのPRを兼ねましてバスの現車をそこに置いて、バスの展示と皆さんにバスの説明等をちょっとしたいなというふうに考えてございます。

以上でございます。

**青山委員** そういったことに取り組んでいただいて延べ人数を増やす。やっぱりこれだけ市税をかけているわけですから、人数を増やしていった利用を上げていかないと、これの価値がなくなってくるわけで。ちなみに、ちょっと突っ込んだ話ですけど、コミュニティバスをやってから何年とかって。

**石坂生活環境課主幹** 実際、現状の形として動かしているのは平成23年からでございます。

**青山委員** そしたら、もうそろそろ10周年とかになるわけですよね。そうするとアニバーサリーか何かでちょっと大々的にやっていただいて、公共交通を使っていただくような周知徹底を本気でやらないと、正直言いたくないですけど本当に無駄金になってしまってくると思うので、そうなってくると将来的に恐らく、どこどこの市じゃないですけども、全体的な市税が伴わなくなったときにこれはすぐ対象になりますので、その辺の危機感を持ってやっていただきたいと思います。お願いします。

**石坂生活環境課主幹** 今ほどのご提言も参考にさせていただきたいというふうに考えます。

以上でございます。

**大浦副委員長** 今の話なんですけど、個人の一意見としては、この乗客が減っているのって、それも1つの市民ニーズなんですよ。これを一企業がやっているとすれば、先ほどから説明されているように、利用者を増やそう増やそうって増やして収入を増やそうとされるんですけど、行政サービスってまたちょっと違いまして、もともとの目的は交通弱者に対して公共交通で弱者をなくそうという目的だと思うんですよ、本来。だとすれば、増やすのも1つの手法かもしれませんが、二通りあると思って、先ほど言った利用者を増やすパターンと、ニーズが下がっているのであれば、それに対応していただくのやり方というものがあるんですよ。だとすれば、コストを下げてもっと効果的に運用



していくというものもあるんです。だって、時間帯で利用者がいないのに常に回っているわけじゃないですか。だとすれば、コストを抑えて、それに見合った運営の仕方、二通りあると思うので、どちらかを選択されてやっていくのも、これは1つの案なので検討いただきたいなというふうに思います。

あと、115ページの環境衛生費なんですけども、需用費の中で消耗品費があるんですけど、これはほとんど火葬場の予算のところなのかなと思うんですけど、こういったものが消耗品費になるのか教えていただけますか。

**石坂生活環境課主幹** 今ほど委員おっしゃられました火葬場用の消耗品もあるんですけども、そのほかに大きなものといまして、資源ごみを回収するための緑色のネットがございまして、その購入費もかなり大きなものになっています。

以上でございます。

**大浦副委員長** そのネットは、町内会とかの要望によって交換したりされているんですか。

**石坂生活環境課主幹** そのとおりでございます。

**大浦副委員長** あと修繕料に関しては、これは何を修繕された決算なんですか。

**石坂生活環境課主幹** こちらの修繕料につきましては火葬場の修繕でございまして、火葬炉の扉の修繕ですとか火をつけるためのバーナーの修繕をしてございます。

以上でございます。

**大浦副委員長** 去年の決算と比べたら大体同等程度の決算額になっていたんですね。毎年毎年、予算段階でこれだけの予算をつけられて、その予算の範囲内で修繕をかけられているのか、それとも毎年毎年それだけの修繕が必要になっていく施設なんですか。

**石坂生活環境課主幹** 火葬場につきましては基本的にそれほど大きな故障というものは発生してございまして、ただ、緊急度を鑑みながら修繕できるものを修繕しておりますので、基本的には今現在の予算の範囲の中で対応できているものというふうに考えます。

以上でございます。

**網谷産業民生部長** 火葬場の修繕については、火葬場は建設されてから10年ほどたちますが、当初、火葬場の修繕計画、これは10年間、当然どの年にどの部分を修繕しなきゃならないと。当然金額の多い年もあれば少ない年もあるということで、ある程度計画的に修繕を行っておりますので、今後もこれから10年たてば、当然大きな修繕というのも出てきますので、若干の増減はあるかと思えます。

**大浦副委員長** 同じ箇所なんですけど、印刷製本費が100万円去年より増えているんです

けど、これは何をされたんですか。

**石坂生活環境課主幹** これの主なものといたしまして、皆様方にお配りしております「ごみの分け方・出し方」というカラーの冊子がございまして、これを令和元年度に一度見直しまして印刷をさせていただいたものが大きなものになります。

以上でございます。

**大浦副委員長** 分かりました。

**岩城委員長** 次、よろしいですか。

(質疑する者なし)

**岩城委員長** じゃ、次に行きたいと思います。ご苦労さまでした。

次、第5款労働費、第6款農林水産業費、第7款商工費（商工水産課分）、長崎商工水産課長。

[歳出 5款 労働費 労働諸費 労働諸費 P120～121 長崎商工水産課長〈説明省略〉]

[歳出 6款 農林水産業費 水産業費 P132～135 // 〈説明省略〉]

[歳出 7款 商工費 商工費(商工水産課分) P134～141 // 〈説明省略〉]

**岩城委員長** それでは、質疑に入ります。

**竹原委員** 139ページ、薬業振興費のところちょっとお聞かせください。薬業会事業補助金、45万円支出していますけど、昨年も私、同じような質問をさせていただきましたが、昔から言う薬のまち滑川が、毎年高齢化と言いながら新規で就労される売薬さんがおらず年々衰退しているというふうに伺っているんですけど、いつまでこの補助金を出して、活性化というのは図られているのかどうかという検証ってされていますかね。

**長崎商工水産課長** 今おっしゃられましたように、なかなか売薬業というのは非常に厳しい状況であるというふうには思っております。活性化というものをどう検証しているかというのはなかなか難しいところでありまして、実際のところ具体的には何か行っているものはございません。

**竹原委員** 1つの意見なんですけど、売薬さんは衰退していつているけども、実際に市内にドラッグストアが進出して、営業形態があつてお客さんは必ずおるわけですよ。片や滑川高校でも薬業科があつて、そこに行きたいという子どもたちがたくさんいて競争率も高いと。薬業科を卒業したら就職もそれ関連のところたくさんあるということで、

人気はある学科、高校であるけども、相反するところで、薬のまち滑川と言いながら、売薬さんが衰退しているけども補助金を出している。

そう思えば、もうちょっと若い世代の方々に薬のまち滑川というPRを別の形でしてあげればいいんじゃないかなというふうに思うんですよ。先ほども言われた風船を作って配っていますと言うけど、これは昔の慣例であって、新たに何かチャレンジしていく売薬業ということで、せつかく滑川高校があるんですから、もっと普及活動に努めてあげたらどうかというふうに思うんですけど、どうですかね。

**長崎商工水産課長** 実際に滑川高校へのPRというものは具体的には特に行っていないと思うんですけども、昨年、キラリングルメの森におきまして市の薬業界の方が出られまして、1つブースを構えて来場者の方へ売薬のPR等もいろいろやっておられて、売薬さんもいろいろ何かしらしなければいけないというふうには認識しているんですけども、そういった滑川高校の薬業科の皆さんへのPR等も、また薬業界と相談してちょっと考えてみたいと思います。

**竹原委員** ぜひ活性化に努めてください。お願いします。

**古沢委員** ちなみに今の話の関連ですが、実際に従事しておられる方って、今こちらで分かっている限りではどれくらいおられるんですか。

**長崎商工水産課長** 昨年の12月末現在で滑川市内の方は61名の配置薬業の方がおいでです。

**古沢委員** 今質問があったように漸減傾向なんけ。

**長崎商工水産課長** ちなみにその前の年は67名でございました。

**中川委員** 141ページですが、負担金、補助及び交付金の部分で新成長産業研究施設立地奨励金というを日本カーバイドに6,400万余り渡しておると思うけど、何かそういう基準があるがですか。

**長崎商工水産課長** これは先ほど申し上げました地域再生法に基づく申請があったものでございまして、市の工業振興条例のほうで定めております。研究者の方が20名以上新たに雇用があったというのが要件となっております。

**中川委員** 20名掛けるどういうがになるが。どういう計算ですか。6,400万ですけど。

**長崎商工水産課長** こちらのほうは設備投資のあったものに対しての助成金でございます。日本カーバイド工業は約25億の設備投資がございました。うち対象となるものが生産設備ということで約19億円ございまして、その10%が今回の助成の対象となっております。この10%、約1億9,000万円ですけども、こちらのほうを3か年に分けて助成して

いるもので、令和元年はその2年目となっております。

以上です。

中川委員 分かりました。しょうがない。

竹原委員 今回の関連した下段なんですけど、ビジネスインキュベーション推進協議会負担金、これはどういう団体というか機構なんですか。

長崎商工水産課長 こちらの協議会のほうは、県内にSOHO施設というような形で創業を支援するような施設が幾つかあると思うんですけども、そういった施設をまとめた協議会ございまして、具体的な事業とすれば中小企業診断士等の派遣事業を行っております、それぞれの事業所に相談士を派遣しまして、事業をやっている人の相談ですとか助成金だとか融資のことだとか、そういったことを事業として行っております、それに係る負担金ということで滑川市として8万円の支出をしております。

竹原委員 例えば商工会議所とかそういう団体は絡まずに、単独の協議会に協力金という形でお金をやっておるがですか。

長崎商工水産課長 そのとおりでございます。

竹原委員 実際この負担金で使用実績というのはあるがですかね。

長崎商工水産課長 昨年、先ほども申し上げました中小企業診断士の方がSOHOセンターにいらっやいまして、年間105回おいでになっております。必要に応じてそれぞれ相談をしておられまして、当然相談がないときもありますけれども、いろいろな相談事業を行っております。

竹原委員 分かりました。

尾崎委員 今回の確認というか、中川委員が言われた日本カーバイドへの奨励金は、いわゆる地域再生法という法律に基づいての設備投資をして云々かんぬんということで出していると。これって財源は全部市が負担するというか、国から例えば交付税措置だとか、何かそういうものってあるんでしょうか。

長崎商工水産課長 財源につきましては市の単独費用でございます。

尾崎委員 それは法律に基づいて奨励金を出しなさいと。これだけ設備投資したから、またいわゆる税金で回収できるみたいな考え方なんですかね。

長崎商工水産課長 本助成制度につきましては工業振興条例に基づくものでございます。国からどうこうというものではございません。

尾崎委員 条例ですね。ということは要するに条例だから、市の条例に基づいてというこ

とだから、どんどん設備投資してくれてありがとう、だから奨励金を出しますと、こういうことですね。

長崎商工水産課長 そのとおりでございます。

尾崎委員 分かりました。

大浦副委員長 135ページの委託料のほうで滑川漁港清掃委託料とあるんですけど、委託料の支払先って滑川漁業協同組合ですかね。

長崎商工水産課長 漁港費の委託料ということですね。

大浦副委員長 清掃委託料。

長崎商工水産課長 こちらのほうは滑川漁業協同組合へ委託したものでございます。

大浦副委員長 この委託料ってどうやって決まるんですか。

長崎商工水産課長 委託料の36万円ぐらいが県のほうから来ております。県のほうから委託されていまして、まず滑川市に委託されまして、それを滑川漁業協同組合に再委託しているものでございます。

県のほうは毎年算定しておりまして、県のほうから来るものにプラスして滑川市がそれに10万円を追加して、46万9,270円としているものでございます。

大浦副委員長 県が算定してというのは何を算定しているんですか。

長崎商工水産課長 そのときの草刈りの人夫の単価ですとか、そういったものを算定して県が委託費を出しております。

大浦副委員長 何か毎年この清掃委託料って据え置かれているというか、大体決算額は同額だと思うんですけど、そういう感じですか。

長崎商工水産課長 毎年若干、数千円とか数万円単位でちょっとずれていますけれども、県の算定に基づくものです。市のプラスして10万する部分は毎年同じでございます。

大浦副委員長 分かりました。

あと、主要施策報告書の59ページに内水面の滑川支部にアユの放流事業等に対して助成されているんですけど、このアユの放流ってどこに放流されているんですか。

長崎商工水産課長 上市川です。

大浦副委員長 アユの放流を上市川にしているのは、何のためにしているんですか。

長崎商工水産課長 海の放流事業と同じような感じなんですけれども、資源の維持というような意味合いで放流しているものと思います。

大浦副委員長 資源ということなんですけど、捕っている方もはっきり言ってちょっと知

らないんですけど、アユの生息も上市川がアユの生息にとっていい場所なんですか。

**長崎商工水産課長** すみません、生息にとっていいかどうかは私も詳細はちょっと分からないですけども、内水面漁業協同組合のほうで実施しているものなので、この部分については分かりません。

**大浦副委員長** 確認してもらいたいなという思いで質問させてもらいましたけど、あとニジマス釣りとは手づかみなんですけど、これは行田公園の中でされているんですけども、行田公園を使用されることを決めているのは内水面さんで間違いないですか。

**長崎商工水産課長** 事業自身は内水面と市が共催でやっていますので、両方で決めて実施しております。

**大浦副委員長** 昨日行ったら看板が出ていたんですけど、あそこは本当に人目につかない場所というか。ただ、この大会自体は参加者にはすごく好評なんですけど、あの場所以外でもっと人目につくようなところでできないものですか。そのほうが予算的な効果は高まるんじゃないかなと思うんですけど。

**長崎商工水産課長** ニジマス釣り大会はニジマス釣りと同時に手づかみ大会というものも実施しておりますので、釣りと手づかみ大会、両方が実施できる場所、市内で行田公園がなかなか適当かなということと、例年5月末に行田公園で実施しております、その時期、行田公園もハナショウブがもうじき咲く時期ですので、市内の観光事業としては行田公園が適当かということで行田公園で実施しております。

**大浦副委員長** さっきのアユもそうなんですけど、毎年そこでしているから次の年もそこなんですというのが、そこが適当なんですというのになると、ずっと事業って成果は一緒だと思っすね。やはり少しずつ変化していかなければ、その事業の成果って上がったり下がったりはしないわけでありますから、ずっと据え置いている必要性も私からしたらあんまり感じないので、いろいろ検討した結果そこになりましたという説明なら分かるんですけど、毎年そこだからそうなんですというのはあんまり精査されていないような気がするんで、また内水面さんと協議はしていただきたいなというふうに思います。意見です。

**岩城委員長** よろしいですか。

(質疑する者なし)

**岩城委員長** では、暫時休憩いたします。

再開は午後1時からであります。

午後 0 時 08 分休憩

午後 0 時 56 分再開

岩城委員長 では、決算特別委員会、午後の部を再開いたしたいと思います。

第 7 款商工費、観光課・海洋資源振興課分をまとめて、小川観光課主幹。

〔歳出 7 款 商工費 商工費（観光課分） P 140～145 小川観光課主幹〈説明省略〉〕

〔歳出 7 款 商工費 商工費（海洋資源振興課分） P 144～145 〃 〈説明省略〉〕

岩城委員長 では、質疑に入りたいと思います。

青山委員 144、145の中での負担金、補助及び交付金の中の日本版DMO活動事業費分担金で、85万5,000円の具体的な内容をお願いします。

小川観光課主幹 日本版DMOにつきましては2つありますが、1つは新旅行造成市町村タイアップ事業ということでございまして、「トヤマc l i p」という雑誌、タイアップ事業につきましては、その雑誌を作りまして首都圏を中心に約10万部以上を配布しておるものでございます。

もう一つが日本版DMO活動事業費ということでございまして、これはICTを活用してデータ収集・分析、外国人の周遊調査、また大手の旅行会社への営業活動やSNS、ホームページ、予約サイトを活用したPR事業などを県として行っているということで、さきのタイアップ事業につきましては50万円ございまして、今のDMO活動費につきましては35万5,000円、合わせて85万5,000円ということになってございます。

青山委員 そうしますと、これはもともと「トヤマc l i p」のほうで50万。この35万5,000円のほうって最近ですか。

小川観光課主幹 毎年この2つの事業はやっております。

青山委員 もともとの予算立てでしたっけ。最初の頃より増えたんじゃないですか。

網谷産業民生部長 以前は「トヤマc l i p」というんじゃなくて「富山旅」ということで年2回やっておりました。令和元年度については1回で「トヤマc l i p」、これ1つになったと。それが50万円。各市町村若干負担金が違いますが、滑川市の場合はこの50万円ということで、滑川市の観光の記事を載せてあると。

先ほど言いました三十数万円については、これは協議会のほうの運営費、それに対す

る負担金ですので、これは機構が設置されたときからそういう体制で行っております。  
**青山委員** 基本的に県がやる事業に乗かって市のPRを載せていただいているというように  
うなことでよろしいんですね。

**網谷産業民生部長** そのとおりです。

**大浦副委員長** 143ページの委託料のほたるいか観光施設指定管理料なんですけど、主要  
施策のほうの66ページにほたるいかミュージアムの入館者数が出ているんですね。それ  
で、昨年と比べても委託料は変わらないんですけども、30年度と比較した場合に入館者  
数は大体7,000人弱増えているんですけど、委託料が変わらないということは売上げは  
変わらないんですか。7,000人増えても売上げは変わらなかったということですか。

**小川観光課主幹** おっしゃるとおり入館者数が7,000人近く増えておりまして、料金にし  
て何百万ですか、ごめんなさい、ちょっと忘れましたが入館料も増えております。

ただ、昨年度におきましてはホタルイカが非常に捕れなくて高かったということで、  
いろんところで経費が高ついておるということをウェーブ滑川のほうから伺ってお  
ります。

**大浦副委員長** ここにミュージアム全体の売上げは出ていないんですけど、今日の朝に、  
今、指定管理の募集をされていて、ホームページに売上げのほうも出ていて、計算する  
と1人頭650円ほどしか平均だと使われていないんですね。

ここに計上されているのは当然、光彩分であったりとかお土産、物販の部分も入って  
いるのかなと思うんですけど、あまりにも利用者のお金を使うという購買意欲につなが  
っていないような気がするんですけども、どういうふうな検証をされますか。

**小川観光課主幹** すみません、今おっしゃられた650円というのは。

**大浦副委員長** 利用者に対して、その売上げです。

**小川観光課主幹** 入館料ベースの。

**大浦副委員長** 今810円、期間で分けられているじゃないですかね。

**網谷産業民生部長** 今ほど委員おっしゃられたお土産と、それからレストラン光彩、これ  
は指定管理の中には含まれておりません。したがって、テナントであるとか光彩の  
売上げというのは、それは別の……。株式会社全体としては決算が上がっていますが、  
この指定管理の中にはそれらの経費が入っておりませんので、そこはそういう格好にな  
っておりますのでご理解いただければ。

**大浦副委員長** これは単純にほたるいかミュージアムの入館部分だけということではないん



ですか。

**網谷産業民生部長** 入館者、それからミュージアム、それからタラソピアに係る経費を、いろいろな修繕であるとか固定費であるとか、そういうもの。一番大きいのは当然人件費になりますが、そういうものが費用として上がってくるということになります。

**大浦副委員長** 入館者が増えても、実際売上げにはさほどつながらないということですか。

**網谷産業民生部長** 入館者が増えれば当然売上げは上がりますが、片方で経費の部分で、先ほど小川が言いましたが、去年はホテルイカの高騰であったり、それから修繕の部分で施設整備費のほうでは整備をいたしておりますが、小修繕の部分であったりそういう部分については指定管理費の中でする部分もありますので、そういう中で経費が増加したということで、今回収支、こういうような状況になっております。

**大浦副委員長** ウェーブ滑川さんに委託されていますので当然協議されていると思うんですけども、いくら入館者が増えても経費がそれだけかかってくるということなんですけど、こういったコストの減を図られているんですか。

**小川観光課主幹** それは先ほどの数字にもありましたが、7,000人ほど増えて350万ほどの入館料の収入が増えておるところでございます。

コスト削減ということでございますが、人件費等の削減にも尽力されておりますし、その他いろいろな打合せをしておる中で、できるだけ経費がかからないようにということで、消耗品等も含めましてウェーブ滑川のほうではやっておられますが、具体的なものにつきましてはまた確認いたします。

**大浦副委員長** これを聞いたのは、来年の決算の話にもなるんですけど、当然入館者がすぐく下がると思うんです。それでも同じ運営は当然されないと思うんですけども、抜本的なことを変えないと、指定管理料が一体どれだけあるのかちょっと分かりませんが、大変な出費になるかと思うので、協議していただきたいなというふうに思います。

あと同じページなんですけども、工事請負費なんですけども、ほたるいかミュージアムのマーケット棟のガラスの取替え工事、去年もされているんですけども、今年も新たな場所で取替え工事が必要になったということなんですよね。

**小川観光課主幹** 実際になぜ起きておるかといいますと、レールのほうのさびがありまして、そのさびが増えてくることによってガラスが圧迫されてひび割れが起きておるということで、これは令和元年度に3枚を取り替えたものでございます。

**網谷産業民生部長** 委員おっしゃられたとおり一昨年も確かにやっています。ちょうどテ

ナントの魚津側、まずこのほうにひび割れが見えた。その後も同じような状況で、また今度は反対側の部分にひび割れが見つかったということで、こういう形になると。2か年にかけて直した。

真ん中のほうはガラスの圧迫の関係でこれは大丈夫だということで、どうしても角の部分が影響が出たということで、2か年にわたって修繕したということです。

**大浦副委員長** 昨年、「今後改善を求める事項」の中で経年劣化とか資材の選定だとかというふうに言われたんですけど、去年もあって今年もあったから、またあるのかは別として、あそこにガラスが必要かどうかということも、ここは1階部分のことを言っておられると思うので、あそこから見られるものは海岸のブロックしか見えないのに、ガラスでやる必要があるのかなと思ったりもしたりするんですけど、これだけひび割れすれば、取替えするんだったらガラスを入れなくてもいいんじゃないかなと思ったりするんですけど、どうですかね。

**小川観光課主幹** 今、取り替えたひび割れ部分につきましては天井のほうといたしますか、はしごの専門の車を持ってきて工事しておるところでございまして、手で届くようなところではないんですが、確かにそこがガラスである必要があるかと言われてますと、そこまで人が上って見ることはないんですが、光彩から少し横に行きました部屋からは、海のほうを眺めるときにはガラスであったほうが海がよく見えるのかなとは思いますが。

**大浦副委員長** 従来どおりのもので直すのか、それ以外で直すのかは検討されて工事に入っていたきたいと。要望です。

**岩城委員長** ちょっと1つ確認だけお願いいたしたいと思います。

タラソピアの外壁の工事の壁面の看板ので1つ。当初は予算は幾らだったですかね。

**小川観光課主幹** タラソピアの当初予算では看板設置工事ということで300万円を予定しておりましたが。

**岩城委員長** 300万の予定が四百七十どれだけやったということけ。

**小川観光課主幹** 当初の予算時の予定では、タラソピアの塗装を全部はぐるのではなくて、看板を貼って見栄えをよくします、悪いところは直しましょうという考えの下でやっておりましたが、その後いろいろ工事方法等を検討しまして、実際には全部除却したほうがこの後のことを考えてもいいだろうということになりまして、除却工事で塗装を全部はぐる工事のほうを選択したものでございます。

岩城委員長 途中経過について、委員会か議会のほうで連絡しとったのか。

小川観光課主幹 工事につきましては途中経過というもので報告したことはなかったと思っております。

岩城委員長 あれか知らんけども、最初我々も三百どれだけだったかなという記憶があったものだから、いつの間にやら合わせたら五百どれだけになっておるもんだから、どうしたのかなと思って確認したがで、そのようなことがあればちょっと状況なんかも途中途中、話を聞かせていただければいいかなというつもりで質問しました。

以上です。

古沢委員 これも確認でちょっとお聞きします。145ページの製塩施設の関係で、製塩という事でいえば直接的には普通、運營業務委託、それから清掃業務委託などなどだと思うんですが、これはこの年度で塩とすれば何キログラム生産されたか分かりますか。

小川観光課主幹 生産量につきましては大体500キログラムであります。

古沢委員 初日に雑入で天日塩の販売収入ということで90万余り収入があったということで、これは量とすれば286.6キロだというお話がありました。ということは、その残りは在庫で、塩が在庫になって大丈夫ながかという気もせんでもないですが、そういうことでいいですか。

小川観光課主幹 もちろん在庫の部分で残っている分もあるんですが、まだ令和元年度のときはサンプルといいますか試供品というような形で配布しておるものもたくさんございます。

古沢委員 ただでか。

小川観光課主幹 はい。当然その当時作ったものが在庫としてあるんですが、特に賞味期限というものはございませんので、しております。

ただ、どうしても小粒、中粒、大粒と3種類できるんですが、売行きはやはり小粒のほうがよくて、大粒、中粒のほうの在庫が少しあるということでございます。

古沢委員 そしたら、それを見ながら作るということになるがけ。それとも残りやすいものは何らかの手段で販売するなり何なりということになっていく。前、よく話があったでしょう。コストをかけてあの値段で販売するということだけでも、ペイできるのかというような話がよくあったでしょう。別にそれに私は強くこだわるわけではないんだけど、やっぱり気になる場所なので、そこら辺はどうですか。

小川観光課主幹 塩につきましては、今も道の駅を含めいろんな飲食店等に営業等をいた

しまして、昨年に比べてまた利用してもらえるお店も増えてきたところでございます。

おっしゃるとおり、先ほど大粒等の在庫が増えるということでしたが、それを砕いて小粒と混ぜるといような方法も取りまして、少しでも在庫を消して売れるように努力しておるところでございます。

ただ、いかんせん、いろんな観光施設での売行きのほうが鈍っておるので売行きは芳しくはございませんが、ただ、塩は休むことなく作っておりますので、またそれがはけるように営業活動等も頑張っていきたいと思っております。

**古沢委員** これ以上言わないけど、まだ続くんだったら、後々いろいろ言われないうように私が言うのも変だけど、在庫調整も含めて。ただ、委託しておるから委託料としては生産量に関わらず委託料って払っていくがけ。

**小川観光課主幹** 委託しておる部分は先ほどのごみを取ったりですとか検品してもらったり袋詰めしてもらおう部分でございまして、時間で委託しております。予算のある限りで委託しております、もし委託ができないのであれば自分たちでやることも視野に入れてやる必要があるかなとは思っています。

**古沢委員** 職員の方がやられたら、なおさら高つくがじゃないがけ。

いずれにしても注目していきますから、お願いします。

**小川観光課主幹** 今のところ職員でやるまでには至っていません。

**古沢委員** 来年が楽しみだね。来年は厳しいな。今年がこんな状況だから。

**大浦副委員長** 143ページの委託料なんですけど、主要施策の66ページで観光遊覧船の運航費なんですけども、海上観光は100人減、湾岸クルージングは1,000人増になっているんですけど、運航及び運營業務委託料を見ると、去年分けて書かれているんですけど、トータルで大体1,500万ぐらいなんですけども、450万円今回決算増になっているんですけども、理由は何かですか。

**小川観光課主幹** 運営、運航の委託料の増額につきましては、人件費の増額分を見ております。

令和元年度の当初では、今までは船長1人と甲板員2人ということだったんですが、運転できる者が1人ということではちょっと不安もあるものですから、運転もできる甲板員を1人追加したことで予算が増えているものでございます。

**大浦副委員長** この事業に対しても、結局利用者が増えれば経費がかかってくるということなんですか。それとも、運転手が2名いるということはこの事業をやるには必要不可

欠だということですかね。

**小川観光課主幹** まず、当然乗船客が増えれば収入は増えますが、出航回数が増えると、イコール燃料費等もかかりますので、一概に乗船者数増がそのまま増加するかということではないんですが、あと今の人件費の件ですが、運転できる者は2名体制が望ましいということで、今後もそのようにしたいと思っておるんですが、今現在は1名しかいない状態でございます。

**網谷産業民生部長** 観光船については、これは委託料なんですけど、もう一つのほたるいかミュージアムについては指定管理料ということで、この辺はやっぱり指定管理料と委託料で若干考え方が違うかと思えます。

指定管理料のほうについては、こちらのほうで算定した金額で委託するものですから、それだけをお渡しすると。当然この観光船については、委託契約を結ぶ中で収入が増えればその部分の委託料を下げるといような契約内容になっておりますので、今後収入が増えれば委託費も下がるというふうなことになるかと思えます。

**大浦副委員長** そしたら、これはまた別の箇所なんですけど、今ほど収入があったらということだったので、ほたるいか観光船の運航貸切り業務委託料に関しては去年より180万増えているんですね。それは海上観光の乗船者が減ったから、大体180万円増えたんですか。

**小川観光課主幹** 貸切り委託につきましては、おっしゃるとおりウェーブ滑川のほうで氷見の富山湾マリンと契約しておるものですが、この契約料がありまして、そこから乗船者の収入を引きまして、残りを委託料として支払っておるものがございます。

ですので、その分が増えておるということは乗船者が減ったということになりますので、昨年に関していえば出航回数が減ったというのもありますので、その分乗船者が減っておるものがございます。

**大浦副委員長** 委託契約料自体は去年と一緒なんですか。

**小川観光課主幹** 同じ料金です。

**大浦副委員長** 分かりました。

**岩城委員長** そのほか。

(質疑する者なし)

**岩城委員長** ないようでしたら、次のほうに移りたいと思います。

農林水産のほうに行きます。

第6款農林水産業費、黒川農林課長。

[歳出 6款 農林水産業費 農業費 P122～133 黒川農林課長〈説明省略〉]

[歳出 6款 農林水産業費 林業費(農林課分) P130～133 // 〈説明省略〉]

**岩城委員長** では、質疑に入ります。

**古沢委員** 133ページの委託料の真ん中辺、これはずっと引き続きやっていたいるんですが、松くい虫防除委託料ですね。この松くい虫防除については一頃ほどのことではないんですけど、これで終わったという認識でいらっしゃいますか。

**黒川農林課長** これは森林病虫害等防除事業の中で松くい虫防除(樹幹注入)業務委託ということで実施しております。

昨年は高塚地内で50本の松に対し90本の樹幹注入を行っております。引き続き今年も高塚地内で実施する予定としております。規模的には一緒ぐらいです。

また、昨年から里山再生整備事業の中の海岸林保全整備事業が、これは県の税の10分の10でやっていた事業なんですけれども、廃止されたということで、ちょっと事業的には減となっております。

**古沢委員** 引き続き求めたいのですが、前よりも少なくはなりましたけど、枯損木もあるので、その除去も含めて、樹幹注入も含めて、引き続きお願いしたいと思っています。

**黒川農林課長** このほかに県の事業で治山事業の中で海岸林整備事業があります。

先般も県の方が現地を調査されて、荒俣地内に枯れた木があるということで、できれば本年度伐採したいという考えと、あと、切って寂しい状態になっておるものですから、植栽についてもできれば荒俣地内を中心に実施したいということで、現地、地元町内の方も立ち会って見ていかれております。

**古沢委員** 引き続きお願いをしたいと思います。

それで、高塚地内でいうと防災林か何かが県の指定になっておって、あそこは私有地なんかもあったりしてちょっと厄介だと思うのですが、見通せるぐらいの感じになっているので、後の対応も何か考えていただきたいなと思っているところですね。

**黒川農林課長** あそこは虫に食われたということで大々的に伐採して、今、あそこを中心に樹幹注入、生きておる木を何とか残そうということで、去年、今年もやるんですけれども実施する予定としております。

今言われました植栽等については、また県のほうへ働きかけていきたいと思います。

**古沢委員** お願いします。

**大浦副委員長** 127ページの補助関係のやつで、海洋深層水のトマトの栽培事業の補助金なんですけれども、これはゴールは何ですかね。いつまで補助し続けるんですか。

**黒川農林課長** 私が来たときは、3年間何のせ一生懸命PRとか補助も行って、一定の販売ルートに乗せるのとおいしさをみんなに知ってもらう、そういったPRをして知名度を上げるということで今現在もやっております。

実際、今2棟目が建って、今年初めてフルで回しているんですけども、やっぱりまだ海洋深層水をどれだけ入れたらおいしくなるかとか、そういったこともある程度区切ってパーセントを決めてやったりしておるんですけども、栽培の段階で枯れていったりとか、その年の状況によってなかなかそこまでのデータが得られていないという状況なのと、2棟にして一遍で売れてしまったら、今度はけ口がマックスのときになかなか見つからなくてちょっと苦労したということで、秋植えについてはちょっと時間を置いてそういう重なりがないようにということで、そういったことも今試験的にやって、何のせできれば、冬場はどうしても暖房で燃料費とかそういったものがかかるものですから、冬前までを通して、冬を除いた年間で安定的に販売できるようにということで、今、笠木のほうとも調整しながら実施しております。

**大浦副委員長** 営農笠木さんどこまで施設を拡大されるのかはちょっと分からないですし、販売に乗せるというのどこでどうだというものが無いんですよ。

聞いていると、やっぱり全部研究段階でしかなくて、結局成果を出すのは一体いつになるんだろうということでは認識できないので、施設の拡大もどの程度まで考えていらっしゃるんですか。

**黒川農林課長** 笠木さんにつきましては、今ハウスを設置しておる場所は目いっぱい、2棟でもう建てる場所はないものですから、また笠木のどこかへ離れてというわけにはなかなかいかないと思うので、笠木さんについてはこれが目いっぱいだなと。

ただ、もっとトマトを進めるということであれば、ほかの団体でやっていただけるようなところがあれば協議等も必要だと思いますけれども、そういった場合にはまた拡大ということも考えられるかなと思っております。

**大浦副委員長** 結局、拡大すればするほど、国の補助があるといっても、一般財源からどんどん手出しが増えていくわけですよ。そしたらどういう状況になったら結局補助を

しなくていい段階になるのかとゴールを設定しないと、トマトにだけ市が助成していることになると思うんです。なので、どこかでしっかりと線引きしないと、ずっと出し続けることになるんじゃないかと思うんですけど、どうですか。

**黒川農林課長** 今は苗代、肥料代等も助成させていただいておるんですけども、笠木さんのほうへはある程度販売ルートも確立してちゃんと売れるようになれば、自分のところでの収支決算で何とかお願いできんかということでお話はしているんですけど、それが来年なのか再来年なのかと言われると、ちょっとまだその辺は言える段階ではないです。

**大浦副委員長** 相手方からもう結構ですという言葉ってなかなか出ない気がするんです。なので、幾ら協議してもそれは難しいんじゃないかなと思うんですけど。

**黒川農林課長** ある程度補助しているんですけども、それには笠木さんのトマトに関する収支決算、そういったものも見せていただいておりますし、そういったことでこの辺はもう補助しなくてもいいんじゃないかということでは少しは減らしていかなければならないということは十分認識はしております。

**大浦副委員長** お願いします。

**高橋委員** 127ページのところの補助金で、有害鳥獣被害防止対策事業補助金237万6,000円余りあるのですが、この補助金は市単独なのか、県なのか国なのか内訳をひとつ、これはどういうがか。

**黒川農林課長** 地元住民が実施する電気柵、フェンス、これは出荷している畑とか田んぼに限るんですけども、その補助金については市単独の補助であります。

あと、有害鳥獣対策協議会が行う捕獲や追い払い等の助成については、県の助成も入っております。

あとそのほかに、地元から大々的なフェンスとかそういったものにつきましては、鳥獣被害防止総合対策事業という国の事業がありまして、それについては滑川市有害鳥獣対策協議会が窓口となって、各地元の要望を受けて毎年フェンスなり電気柵なりの品物の提供は行っております。それは国の補助を活用しておると。

**高橋委員** そこで、毎回毎回どこでも言われているのですが、今の時期は稲の刈取りとかそういうもので見たとき、有害鳥獣は特に最近は何んかでも今年は山の実が不作なので下りてきたと。そしたら、この有害鳥獣対策補助金の中のほとんどはイノシシの対策の電気柵とかそういうものをやられておるのではないかと思うのですが、このイノシ



シなんかでも、あの手をすればこの手に入る、この手ですればあの手に入るといういたちごっこみたいな気がするがいちゃ。これで大分長いことやっておる。そこで、田んぼがあるところはまだそうしておっても、そうでないところは野放しになっておる休耕田等もあって、山手のほうなんかはかちゃかちゃにしてしもとる。そこのところでどんどんどんどんとイノシシが増えておる。増えてきたものが田んぼに入ってきてまた被害を起こす。そういうところを、中には山へまた帰さんにゃならんとかという人がおるのですが、これは作物を取りに来ておるがいちゃ。水田とか畑とかというものは、本来生活のために作っておるものに被害を及ぼしたから、また下へ来たから山へ追い返すとかって、こういう生ぬるいことをやっておったら、いたちごっこにも追っつかんような話のことをやっておるような状況やと思うのですね。そこで、それらの対策をやっぱり何か考えないと駄目だと思う。

そこで、この間もイノシシなんかはもう早、中加積の赤浜のところまで来てしもうとると。スーパー農道どころか高速道路どころか、今、新幹線も追いかけてきておるようなところへイノシシが来ておるような状況なので、その柵は果たしてどこまでやれば効果があるのかないのか、そこの辺りの協議なり対策を行政でもきちんと考えているのかいないのか、またこれからどう考えていくがか、どう思うけ。

**黒川農林課長** 今委員おっしゃったとおり、大変苦慮しておるところでございます。滑川市だけの問題ではなくて、富山県全域あるいは富山より南のほうは全てイノシシ対策ということで大変苦慮して、何かいい対策、先進的な事例がないかということで探してもみておるんですけども、なかなかこれといったものがないのが今の状況であります。

市としましては捕獲頭数を何とか一頭でも増やすということで、捕獲おりを15基から21基に、猟友会の専門の方に通り道等を見ていただいて、ここに置けばイノシシが通っておるから捕まりやすいぞといったような教授もいただきながら、8月末で75頭の捕獲をしているところであります。去年の1年間とほぼ同じくらいになってきている状況であります。

あわせまして、地域住民の方と何のせいい対策はないかということで話合いもさせていただいておるんですけども、どこから入ってくるがか分からんがですけども田んぼの中へ入るといった状態になっております。

**高橋委員** そこで、今、電気柵なんかはイノシシだけかもしれんけど、猿とか熊とかもその部類にみんな入ってきて、猿なんかは東福寺野のほうへ行ったら電気柵を飛び越えて

行ったり来たりしておると。それと熊なんかでも、この間新聞に出たようにえらい心配して努力をさせていただいておるのか知らんけど、親子連れで本江なら本江に下りてくる。こういったようなものは、我々農家は田んぼをしたり畑をしたりというのは生活のためにやっておる。ああいうような有害鳥獣に荒らされて黙っておるわけにいかんがですが、世の中はそういうがでも、そういうもんは関係なしにかわいそうだ、かわいそうだ、山へ放してやらんにゃならんという話もいっぱい出てきて、法律でも決まっておるようだから何だけど、これはきちんと一線をどこかで引けるように行政としてもきちんとやらないと、山から下へ下りてきたら恐ろして下へ下りてこられんもんだというふうな、ああいったような動物に知らしめるような対策をよく考えたほうが手っ取り早いんじゃないがかと。下へ下りてきたらみんな殺されてしまうよと——こんなことを言ったら駄目なんかもしらんけど——というようなことを知らしめるような対策をよく行政でも上のほうなり周りに、ただ一方的に始末するというだけでなしに、下へ下りてこんな対策を何か考えたほうがいいのではないかと思うのですが、これからこういったような努力もしてもらいたいと思います。意見として言います。

**黒川農林課長** 当然、滑川市だけで対策を取れる問題でもありませんので、十分県あるいは国のほうとも協議しながら進めていかなければならないと思います。

そういった中で、中山間地域等の直接支払交付金とか、あるいは里山整備事業、イノシシとか熊のすみかをなくそうといった、そういった整備も毎年行っておるわけで、何のせ地道な努力で一つでも被害が少なくなるように頑張っていきたいと思っております。

**高橋委員** もう一つ聞いてみるけど、この間、本江とか何とかで親子連れが来ておったん、あいつ捕まえたん？

**黒川農林課長** 発見には至っておりません。

熊のお話が出たので、8月末現在ですけれども目撃情報は8件、去年は同月で2件でした。捕獲は熊が8月末で5頭、去年は同じ月でゼロ頭で、滑川市においても他の市町村と同じように熊の出没、目撃情報、捕獲頭数は増えております。

**岩城委員長** よろしいですか。

(質疑する者なし)

**岩城委員長** よければ休憩いたします。

再開は2時20分。

午後 2 時10分休憩

午後 2 時19分再開

岩城委員長 再開いたしたいと思います。

建設部に入る前に、「今後改善を求める事項」で指摘された事項についての対応状況等の説明からお願いをいたしたいと思います。岩城建設部長。

〔「今後改善を求める事項」の対応状況等の説明 岩城建設部長〈説明省略〉〕

岩城委員長 ご苦労さまです。

では、第 6 款農林水産業費、8 款土木費、第14款災害復旧費、北島建設課主幹。

〔歳出 6 款 農林水産業費 農地費 農地費 P 126～131 北島建設課主幹 〈説明省略〉〕

〔歳出 6 款 農林水産業費 林業費（建設課分） P 130～133 〃 〈説明省略〉〕

〔歳出 8 款 土木費（建設課分） P 144～171 〃 〈説明省略〉〕

〔歳出 14 款 災害復旧費 P 210～211 〃 〈説明省略〉〕

岩城委員長 では、質疑に入ります。

竹原委員 155ページの中段で、町内会さんからの依頼で街灯、29件出ると。もう予算がないからこれでストップだと思うんですけど、あと順番つながっている町内会さんって何件ほどあるのか教えてください。

北島建設課主幹 町内会の数でよろしいでしょうか。

竹原委員 はい。

北島建設課主幹 15件で17基要望をいただいております。

竹原委員 たくさん要望があるのであれば、年度初めでもうちょっと予算を組まれてもいいがじゃないかなと思うんですよ。また検討してください。

あともう一か所、159ページの真ん中、工事請負費なんですけど、不用額が100万余り出ましたというふうに言われましたけど、事業精査で云々という説明がありましたが、中身を見ていると少額の補修が結構あるんですよ。そしたら、100万余りました、不用額ではなくて、その年度内にもう一、二か所ぐらい修繕できた箇所というのはあったん

ではないかなというふうに疑ってしまうんですけど、見解はどうですか。

**北島建設課主幹** 最終的に沖田川の派川の工事等で内容精査したもので上がってきたもので、それから急遽冬工事ということになると、河川に触れる時期を逸してしまっておりますので、これはできなかつたということになってしまっております。

**竹原委員** 認識としては、大きな工事が後倒しというか、想定していたのが遅れて金額が精査された結果が100万円余ったという認識でいいがですね、そしたら。

**北島建設課主幹** もともと河川を工事できる期間って、漁協さんともありまして期間が限られておるものですから、その期間に目がけてやりましたら、結果こういうふうになったということでございます。

**竹原委員** なるべく段取りよく、予算を組んだのであれば、やはり修繕箇所というのはすぐ直してほしいところばかりだと思うんですよ。だから、なるべく不用額が出ない範囲で対応できるものであれば早期に対応してあげてほしいと思います。意見です。

**古沢委員** さっき竹原委員から街灯の話がありましたが、今残っている15というのは新設ですか。そのほかに例えば従来蛍光灯だったものをLED化するというのに対して補助制度があったと思っているんですが、そういうものは含まれていないですかね。

**北島建設課主幹** 含まれております。基本、今年は更新、LED化するところへということで補助させていただいておりますので。

**古沢委員** それが15ね。

**北島建設課主幹** はい。

**中川委員** あちこちの用水等を農業者の皆さんから要望されて整備されてきておりますが、そういったところでここはちょっと防護柵をつけなきゃ駄目だというようなところじゃないもんですか。あれば、やはり市が単独でそういった防護柵はこれからつけていかなきゃならんのではないかなと思うのですが。現場は確認されておると思うのですが。

**北島建設課主幹** 用水路等に隣接して道路、市道等があるところはたくさんあるということとは認識しております。なかなかちょっとすぐに全てのところはできないので、今は…

**岩城建設部長** 今年度、県と共同でといいますか、危険な農業用水については滑川市内では中部土地改良区管内と南部土地改良区管内で現地調査、各町内をピックアップしたんですけど、モデル地区として危険な用水路はないかということで、地元の方と一緒にパトロールしてマップを作ったり、そういったような活動もしております、今はまだモ

デル地区なんですけど、これは最終的には市内全域での実施で、そうしたことについては県の県単事業ですとかそういったようなものを活用して、また整備していきたいというふうに考えております。

**中川委員** ぜひともひとつお願いします。

**青山委員** 私も似たようなところなんですけども、各河川のほうの委託料と工事請負費のところなんですけども、田中川だとかの除草業務委託料だとか四間町川の河床整備工事とかで、先般私も一般質問でさせていただいておりますオオカワヂシャの件もございまして、そこら辺の工事の推移とかってどういったものでしょうか。何かされているんでしょうか。

**北島建設課主幹** オオカワヂシャについては今年は、県管理河川になるんですけれども中川については少しお手伝いしてやったりしていたりはするんですけれども、市が管理するものについては直営班で気づいたところからちょっと取ったりはしております。特に雨のときに水門周り等は操作できないと困ったりすることがあるので、その辺を中心に見てはおります。

**青山委員** そしたら、河床の整備工事には全然該当していなくてということですかね。

**北島建設課主幹** そうですね。これはどちらかという土砂の撤去というような、しゅんせつというような形でやっていますので。

**青山委員** それこそ不用額の話が出ておりましたけれども、いろんな河川を見ますと、もちろん県との兼ね合いもあるにしても、どこもかしこもあの紫の花が咲き誇っております、一般質問のときの答弁にもありますとおり、緩やかな河川には必ずと言っていいほどオオカワヂシャがすごい量で出ているということで、恐らく分かっていらっしゃると思いますが、行田公園の下だとかもそうですし、例えば県になると思うんですけどトム・トムの後ろの辺りだとかもオオカワヂシャだらけになっていますので、一旦そこら辺をちょっと整備していただいて、何かこういった不用額が出ずに市単でできることというのはないんでしょうか。どういうふうに感じますか。

**岩城建設部長** 市管理河川につきましては、毎年、一応パトロールは行っております。今ほど北島主幹のほうも言いましたが、直営といいますか、うちの作業員でできる分については順次していただいております。

あと行田公園の下、中川は県管理河川になるものですから、それにつきましても一応県のほうで土砂の除去等も今年度実施していただいております。

あと不用額につきましては、先ほど北島主幹のほうも言いましたが、工事が終わる頃によろやく見えてきたような数字なものですから不用額として残ってしまったんですけど、今後はなるべく早い段階で事業費の精査に努めて、対応できるものについては対応していきたいというふうに思っております。

**青山委員** 農家さんから切実な意見も出ておりますので、そこら辺の市単でできる範囲とこのを広げていただいて、要望ですけれども、ぜひやっていただきたいなというふうに思っておりますので、また来年度以降の予算編成で考えていただければなというふうに思っております。

**古沢委員** さっき中川委員から危険な農業用水の話がありまして、県がいろいろ動き出されるという話を聞いていたので、どうなるのかなと思ってかなり注目していたのですが、今のところ、私が知らないだけかもしれませんが、さっき言われたマップとかソフト対策中心になっているようで、富山平野は農業用水路が非常にたくさんあるので、一面では際限のない話になるかもしれないという思いもしながら言っているんですけども、県はハード対策に乗り出すというような動きというのは何かご存じないでしょうか。ないですか。

**岩城建設部長** 先ほど申し上げましたモデル地区を取りあえず選定しまして、とにかくみんなパトロールしよう。それから、パトロールをする地元の方もここが危険だという認識にもつながるといことで実施しております。その中で、当然どうしてもハード対策をしないと防げない箇所については、その中で優先順位と申しますか、レベルを3段階ぐらいに設けていまして、ここはハード整備、ここはソフト対策というふうに分けと申しますか、そういったようなものまで選定して、今後、県のほうでやる部分については県のほうで予算を確保していただくというような形になっております。

**古沢委員** 乗り出していただければというふうに思っていて、往々にしてよく河川管理者の責任という話が出てきて、そうなってくると農業用水は土地改良区であったりということになってきて、とても手が回らないというのが実態だと思うので、これは費用分担をどうするのかということは当然発生してくる問題だろうとは思いますが、県内でも多数の死亡あるいはけがというのが出ているというのは再三報道されているところですので、県ともぜひ連携をしていただいて対策が進むようお願いをしたいと思います。

私らでも落ちそうになることがあるがいちゃ、正直言って、加齢とともに。

**大浦副委員長** どれがとかというのはないんですけど、土木費全体として入札の結果とか

を見てみると、土木以外のところでは不落になっているものとかも見かけるんですけども、土木に関しては自分の認識の中ではあんまり不落になっているものってないようなイメージもあって、もともとの予算づけの段階でほかのものより少し予算を甘くつけているのかなって思ったりすることもあるんですけども、そういったことってないですか。

**岩城建設部長** 土木関係の積算につきましては、国、県が示している歩掛等があります。

それに資材単価についても統一的な単価があります。これらについては、建設関係の方々にも当然同じ情報といいますかは公開していますので行っております。そうしたことで特に甘くしておるとかそういったことはないと認識しております。

**大浦副委員長** いろんな建設部関係のほかの土木以外の業者さんからとかは、やっぱり予算が厳しいなといった声が聞かれるんですけど、土木業者さんからはあんまりそういった声が聞かれないんですよ。当然県より市のほうが安いから、なるべく県を取りたいんだという声とかは聞くんですけど、市が実際安いかというとそういった声って聞かなくて、土木の各工事費って、今ほど県とかの単価のこととかがあるとされたんですけど、ずっと変わらないのかなと思っているんですけど、県なんかも細かい見直しってかけているんですか。

**岩城建設部長** 資材単価等につきましては、その都度なるべく市場に反映させるようにということで、年4回程度改定といたしますか、そういったような情報ももちろん来ます。

今ほど県のほうが利益がいいとか何とかという話に聞こえたんですけど、一応基準上は県も市も一緒の基準で算定してしまして、ただ考え方で、この部分は見なくていいだろうとか、そういったような取扱いの違いはあるんですが、基本的には同じ考えでやっております。

**大浦副委員長** 分かりました。

**岩城委員長** よろしいですか。

(質疑する者なし)

**岩城委員長** 次に移りたいと思います。

第8款土木費(まちづくり課分)、高倉まちづくり課長。

[歳出 第8款 土木費 都市計画費(まちづくり課分) P158~169 高倉まちづくり課長(説明省略)]

[歳出 第8款 土木費 住宅費 P168~171 " (説明省略)]

**岩城委員長** じゃ、皆さん、質疑に入ります。

どうですか。

ないようなら、次に行きますよ。

(質疑する者なし)

**岩城委員長** 次へ行きたいと思います。

第8款土木費(公園緑地課分)、荒俣公園緑地課長。

[歳出 8款 土木費 都市計画費(公園緑地課分) P158~167 荒俣公園緑地課長(説明省略)]

**岩城委員長** 質疑に入ります。

**竹原委員** 167ページの緑化推進費、下段、原材料費で教えてください。

備考欄に21世紀桜のまち推進事業48万八千幾らとなっていますが、例年あの50万の予算を組んでおられて、応募が殺到してほとんど予算が早いうちになくなるというのを以前から聞いていたんですけど、今回1万2,000円ほど余っている金額からすると全額使われなかったということで、人気がなくなってきた事業になったのか、それとも苗木をあと1本買えば50万をオーバーするからできないと言って次年度繰越しにされたのか、ちょっと経緯を教えてください。

**荒俣公園緑地課長** 今ほど委員さん言われた後者のほうでございまして、あと1本買えば予算をはみ出すということで、1万幾らかを残したという形になっております。

これにつきましては、人気落ちてきたというわけではなくて、その年によってケース・バイ・ケース、多いときもあれば申込みが少ないときもあります。逆に今年の場合はまだ半分程度余っています。

それと桜の植樹の時期なんですけど、大体春先か冬前のどちらかになるので、その年度の予算としましては、3月に植栽するもの、11月に植栽するものと大体その2パターンに分かれます。今年の場合はほとんどが3月末ぐらいに植栽されるもので、これからの応募もまだあると思っておりますので、人気なくなったとかそういうものではございません。

**竹原委員** 時期的なことということで了解いたしました。

あと1点なんですけど、163ページの公園費の中で役務費、水道開栓手数料3か所、それから先ほど167ページでもありました、中ほどの役務費で水道開閉栓手数料が4か所



というふうになっていますが、これは実際、公園内だとかの水道を新規で何かしたのか、それともあったものをもう閉栓してしまったのか、ちょっと理由を聞かせてください。

**荒俣公園緑地課長** これにつきましては毎年やっております、何かといいますと、市内の花壇とポケットパーク、冬の時期は水は要らないという、主に花壇なんですけど、ポケットパークや花壇につきましては、毎年、閉開栓を行っております。そのほうがコスト的に安くつくものですから行っております。

**竹原委員** 市の持ち物と思えば、減免とか無料とか、そういうのにはならず今まで来ているということなんですか。

**荒俣公園緑地課長** そのとおりで、減免とかそんなのはありません。

**大浦副委員長** 主要施策のほうで東福寺野自然公園の管理費の中で、これの利用人数が出ているんですけど、大体5,000人のところ減っているんですけど、この影響はふわふわドームだと考えていらっしゃるでしょうか。それ以外のことだと考えていらっしゃるでしょうか。

**荒俣公園緑地課長** 確かに平成31年度はふわふわドームによって入園の足が減ったということもあるかと思います。今年度につきましては、特にコロナとかそういった影響でさらに減っております。

それだけの影響かと言われると、やはり東福寺野公園の施設につきましてもリニューアルしてからもう10年以上たっております。施設のマンネリ化といいますか、市民のニーズの多様化といいますか、新しいものがいろんなところでできて入園の足が減っているということもあるかと考えております。

**大浦副委員長** 予算についてであれなんですけども、あとパークゴルフに関しても、たまたま今日パークゴルフ協会の方とお話しすることがあって、すごく高齢化が進んでいて、パークゴルフをする人たちも減ってきていると言われたんですね。

今ここに出ているものは利用者は減っていないんですけど、今後やはりパークゴルフをされる方々も減ってくる可能性があるんですよ。例えば今、パークゴルフは横ばいで利用者は減っている状況を考えて、パークゴルフだけで、今しかもほかのパークゴルフ施設も無料でできるところが増えてきているわけです。だとすると、ニーズもここから離れていく可能性があるんで、新たな利用者のニーズも探らないと、東福寺野の利用者も減る一方だと思うんですけども、いかがですか。

**荒俣公園緑地課長** 今ほど言われたとおり、パークゴルフにつきましては大体数字的には2万人程度で横ばいですと推移してきております。ただ、年齢層が新しい若い人がな

かなか入ってこなくて、その人数がそのまま年が上がっていったというような状況であるかと思っております。

今のところはパークゴルフでしばらく様子を見たいなとは思っていますが、今後また新しい競技とかスポーツとか、人気のあるものがあればそういったものも取り入れたりするように考えていきたいとは思っております。

**青山委員** 165ページの、ちょっと細かいですけどスズメバチの駆除業務委託料ということで、どこでだったんでしょうか。

**荒俣公園緑地課長** 具体的に言いますと行田公園と運動公園。運動公園は童和保育園があります。そのちょっと前のほうに大きな木がありまして、そこにスズメバチが出たということで連絡がありまして対応しました。行田公園は行田公園を散策される方からの通報が入ってくるという今日この頃でございます。

**青山委員** これは、まさかこの値段なので自前でということではないですよ。ちゃんとどこかの業者さんなんですよ。

**荒俣公園緑地課長** その都度、業者に委託しております。

**青山委員** そうすると、1回出動で1万7,000円とか1万8,000円ぐらいということですね。

**荒俣公園緑地課長** はい。

**青山委員** そうすると、これは公園緑地課の管轄なんですけど、いろいろ市内の、例えば教育委員会だとかでスズメバチの話とかが出てきたときに、自前で取りあえず1回見に行かれて、その後どうしようかなみたいな雰囲気も多々聞くんですけども、課全体でこの話ってちゃんと行き渡っていますよね。うちのほうではスズメバチをこの値段で駆除できていますみたいのはちゃんと話が通っていますか。

**荒俣公園緑地課長** 課というか、教育委員会と公園緑地課とという意味合いですよ。

逆に教育委員会のほうからどこの業者さんがいいか教えてくださいとか、あと、スズメバチの巣のなる高さとか、それによっても金額が変わってきますので、一概にそれだけとは言えないと思います。

**青山委員** 細かい話なのであれですけど、細かいとはいえスズメバチは危ないですから、全般的に横断的にそうやって市で出てきたとき、結構多いんですね。スズメバチが場所が分かんないけど近くにいそうなんだけれども、どこに頼めばいいかというのは結構市民のニーズではあるので、そういったところがあったときに公園緑地に関するものであればこちらからも言いやすいので、その辺はまた対応していただければなというふうに

思っています。

以上です。

**竹原委員** 165ページ、備品購入費のところ、先ほど東福寺野自然公園のいかだを3つ更新したという話だったんですけど、先ほど大浦副委員長のほうから今後の東福寺野公園の需要増に向けた取組の中で、こういう遊具の更新だとか、私、昔、一寸法師のおわんに乗って池の中に落ちたことが記憶にあるんですけど、例えばちょっと変わりものの備品を購入するだとか、そういった計画って今後進めていくんですか。例えばこれで今見ていると、不用額で予算よりも40万余り余ったと言われるのであれば、これはいかだ3つ分ぐらいのお金だと思うんですけど、あと2つ用意したかったということも考えられますし、どうですかね。

**荒俣公園緑地課長** そういった市民からの声がどんどん来るようでしたら、またそういうふうな新たなものを計画して導入していきたいと思います。

**竹原委員** 今回のいかだ3つ更新というのは、以前のものが壊れて駄目になったから更新されたんですかね。

**荒俣公園緑地課長** 以前のものが誰も乗っていない状態で半水没しておるような状態だったものですから、いかだに乗れないと、乗っても最初からぐちゃぐちゃになると、そういう声も聞いていたので今回更新しました。

**竹原委員** 浮力がなくなるようないかだになる前に、やっぱり点検をして安全対策はちゃんとしていただいて、必要なものは必要で予算計上していただくのが筋道じゃないかなと思うので、ぜひ今後そういったことにならないようにまた点検をお願いします。

**中川委員** 今回このように公園に関していろんな遊具があちこちで入れられておるがですね。こういった計画というのはどこかでされておるわけや。議会はほとんど全然知らんと思うがいちゃね。

**荒俣公園緑地課長** 今現在、国の補助を受けまして長寿命化計画というのをやっております。5か年計画ながですけど、それを取る前に計画をつくります。その計画に沿ってやっています。都市公園だけなんですけど。

**中川委員** そういう計画は分かるがやけど、誰かと相談しておるのか、それとも自分だけでやっておられるのか。例えば今、遊具が腐食したから危険だから換える、それは分かる。ただ新たにつけるとなると、やはり地域の皆さんの意見あるいはみんなの意見を聞く、これが必要だと思うがいちゃね。やはりその公園の在り方というのは絶対あると思

うがよ、地区の公園というのは。したがって、あんた1人で設計して補助金があるからやりました、こんなばかなことはないと思うが。初めて聞く話ばっかやわ。私ほうろうろしておるから、あれ、いつの間に遊具を入れたんかなということは分かるけども、これはおかしいと思う。

海浜公園だって一緒ですよ。何するがか分からんが。いつの間にやら山造っておるが。誰も知らんし、計画を出したんかね。町並みの中に駅前の街路樹も前はあった。何で切ったか知らんけど、切ってしもうた。今になって植えてもらったほうがいいよと言う住民の方、そういうものは植えんでもいいと言う住民もおる。二通りの住民の方がおられて、そのままどうするのかなと思って、俺はそういうものは植えんでもいいと。真ん中の花壇だけ。花壇も今みんな枯れておるが。滑川市の玄関口じゃないよ、あれは。私はそれを言うがいちゃね。何でみんなして相談しないのか。おかしいと思うがは私だけかな。

**荒俣公園緑地課長** 公園の中でも町なかにある街区公園、小さい公園につきましては、この町内の会長さんに遊具を何パターンか持っていくんですが、回覧して町内の方の意見を聞きますかみたいに会長さんと一応相談して決めております。それで市役所で決められと言われればこっちで選定してつけるんですが、もう一つ、行田公園の大きな遊具、あれにつきましては児童館の中で遊びに来られたお子様たちに幾つか遊具を並べまして選定していただいた遊具なんです。そうやって住民の方に選んでいただいた遊具も何か所かあります。町内会長さんが市役所で決めてくださいと言われたものについては、こっちで新たに更新して入れていっています。全部が全部こっちで決めて入れた遊具というわけではございません。

**中川委員** それは相談されておると思うのですが、まず予算化した時点で、私の見落としか知りませんがこんな予算なんか見たことない。そうじゃないかと思う。800万や何百万の金が出ておるがやから。予算化しないでポンと国の補助額から、そんなだらな話はないと思うな。私の見落としかもしれませんが、しっかりとこれからそれは訂正してもらわんにゃあかんわ。これまでのことはしようがないとして。

**荒俣公園緑地課長** 予算につきましては、公園管理費の中で大体長寿命化事業ということで遊具の更新等という形で予算上には上げております、毎年。

**中川委員** ともあれ、先ほども言ったように、この町の玄関口を決めるのに、やはりみんなの意見を聞かなきゃ駄目ですよ。ましてや街路樹もない、真ん中見りゃ花壇してある

けど、みんな枯れている。どうして枯れるがよ。そうやろう。みんなして花壇を造ろうという考えの下なら、気のついた人は水をやっていく。今年なんか水やらんと絶対ああいうようになっていく。私はそれを言うがいちゃ。やっぱりみんなでつくる公園でないと、みんなでつくる町じゃないと駄目や。それをどんどんやって、予算化いつしたのやら分からんとやられて、できてからこれでどうでしょうかと言われてちゃ、俺ら何しとるか分からん。ましてや間に、私、あのとき中へ入って何か木を植えたい、なら頼んでやる、いや、そんなもん植えんでもいいよってまたわめかれる。やっとならんだ、あのとき。

ともあれそういうことながいちゃ。

**岩城委員長** 建設部長、何か明解に返答してあげてください。

**岩城建設部長** 公園の遊具の選定等については、今ほど荒俣課長が申し上げたとおり、町内会長さんと話しながら、また行田公園等については、当然児童館の利用者の方の要望に応えるような形で整備も進めておりますので、またご理解のほうをいただきたいというふうに思います。

あと、今ほどの滑川駅前プロムナードの中央分離帯の植樹といたしますか、花の枯れですけど、これはボランティアで中川原町内会等と協働で植えておりまして、今後、維持管理については注意しながら適正な管理に努めていきたいというふうに思っております。

あと最後に、中川委員には大変ご尽力いただいたんですけど、駅前の街路樹の件ですけど、これにつきましては建設課で歩道整備を行っております、一応、実施前には当然、町内会長さんなり沿道の方々に話をしまして、次、更新といたしますか、植樹、樹木の更新をするかというような話も相談させていただいた中で、歩道の有効利用といたしますか、あそこは街流し等も行われますので、見物に来た人にも木がないほうがいいだろうと。大前提にあるのは、樹齢が50年までは行っておらんがですけど、もう寿命に来ているということで、倒木のおそれもあるということで伐採ということで進めさせていただきました。

緑を復元してほしいというご意見も少ないんですがあるという中で、今後ポケット的に何かできるかとか、そういったようなこともちょっと検討していきたいというふうには考えております。

**尾崎委員** 165ページの19節の負担金、補助及び交付金ですけど、一番下のグリーンアドバ

イザー試験受講料、5名分で19万9,800円が計上されていますが、このグリーンアドバイザーという資格とか例えば位置づけとか、それから果たして今後もそういう人を増やしていくのかだとか、過去こういうことをやっておるがだとか、この19万9,800円の中身は分かりますか。

**荒俣公園緑地課長** この19万9,800円の中身につきましては、これは受講料でございます。これを5で割ると1人分になるんですが、これは受講料。その講習を受けて、講習を受けた後に試験を受けています2日間の費用でございます。

グリーンアドバイザーにつきましては、今、見える形でやっているのは、市役所の下の花壇を造りました。チューリップも増えました。チューリップにつきましては、これから続けて地植えで行っていきたいと思っております。もうちょっと植える場所も増やしながら進めていきたいと考えております。

また、グリーンアドバイザーにつきましては、今後のボランティア団体等とかのリーダー的な存在になっていただくための人材育成でありまして、今後増えてくるであろう公共施設の花壇だとか、今既にある公園内の花壇だとか、そういうところのボランティアさんたちのリーダー的な形で今後活躍していただきたいと考えております。

**尾崎委員** このグリーンアドバイザーという資格は、いわゆる国家資格なのか、例えば民間団体の資格なのかということと、今後どんどん増やしていったって、そういう人を増やしていく計画なのか、そしてまた、いわゆる全額補助したということなわけですね。試験会場とか、富山かどこでやったのか知りませんが、要はこれからもどんどんアドバイザーの人を増やしていこうという考えなのか、そういうところをちょっと説明してもらいたいんですけど。

**荒俣公園緑地課長** 今ほどの増やしていくかどうかというのは、市の職員でやっております、皆さんそれぞれの部署、担当、仕事を持っていますので、増やしていきたい気持ちはあるんですが、今年1人増えまして6名になったんですが、取りあえず現状維持で進めていきたいと考えております。

**尾崎委員** ということは、一般市民からいわゆるボランティア活動をしてもらおうという位置づけで募集して、受講料とか試験料をみんな市が負担しますからということではなくて、市の職員の選抜メンバーで、おまえ受けれと。受かった以上はちゃんとボランティアでしっかりやっていけよと、こういうことでグリーンアドバイザーを人物を選択してボランティア活動をやっていきなさいと、こういう位置づけですか。

**荒俣公園緑地課長** 市役所職員、全職員に対してメール等で興味ある、ないみたいな感じで募集をかけて、実際少なかったんですが、こっちからあとは選抜してという形、今ほど言われたとおりでございます。

**尾崎委員** 何を求めたいのかと。要するにこの資格を取った以上は土・日返上で、まさにボランティアで月1回、例えばボランティア活動にいそしみなさいとか、あなたは有資格者なんだからと、市の費用で資格を取ったんだからと、こういう形でいわばやらせようとしている制度なのか。1つの考え方とすれば、一般市民にこういう制度がありますよと、市がみんな補助しますから、どうですか、皆さん、取ったらどうですかということも1つの方法かなとは思うんですよね。最初は市の職員から有資格者を出して、試験的にやって、次に市民の人に広げていこうかなという気持ちが最初の計画からあるのかどうかということですよ。結局何を求めているのかというのがよく分らん。

**荒俣公園緑地課長** 一番大前提に花いっぱいのもちづくりというのがありまして、そういった花の植栽等、ボランティアをいろんな方にいただいておりますが、花を植えるにしてもある程度の知識とかデザインできる人間が市のほうにいたほうが良いということで、市の中で5人、今回資格を取ってグリーンアドバイザー、ガーデニングチームとしてやっていることです。

**尾崎委員** 今のこの段階で言えるのはその程度なんだろうと思うんですよね。だから、結局これは令和元年度の決算なので、いわゆるグリーンアドバイザーの活動については、また機会を見て質問をさせていただこうかなと思います。

**岩城委員長** ほかにありませんか。

(質疑する者なし)

**岩城委員長** ないようなら、次に進みます。

第4款衛生費、第6款農林水産業費、第8款土木費の上下水道課分、長瀬上下水道課長。

[歳出 4款 衛生費 保健衛生費 公害防止対策費(合併処理浄化槽) P116~119 長瀬上下水道課長(説明省略)]

**岩城委員長** 質疑に入りたいと思います。

**竹原委員** 今の合併浄化槽の話ですが、予定していた30基が28基になって予定を下回ったということだったんですが、実際に予算を立てられたときには全ての家庭でという思い

があったと思うんですけど、いざ蓋を開けてみたら何軒かに要らんわと言われたのもあったんでしょうか。

**長瀬上下水道課長** これは元年度の申請が28件、実際は国の補助金は当初30基分で予想しておったんですけど、大きさとか宅内とかの補助金もございまして、この関係で28基で国の補助のほとんどを使い尽くしてしまったものですから、回していただけるものなら今年度にといいことで回していただいたということでございます。

**竹原委員** 多分、事業計画をされていると思うので、ほとんどのお宅で合併浄化槽を導入されるのか、あるいは高齢独り暮らしだとか高齢夫婦だけで合併浄化槽を入れんでもいいわというご家庭もあったのかなというふうに思って質問させていただいたので、一応進捗状況というか、今から住まれる人は必ず入れられると思うんですけど、既存のままこれでいいわという方も実際おられるのかどうか聞かせてください。

**長瀬上下水道課長** この事業をするときにアンケートを取っております。やっぱりなかなか高齢者の方とかについては、今のままでいいわという方が多かったということでございます。

**竹原委員** 分かりました。

**古沢委員** 今の話の続きになるけど、今の話だと補助金がなくなったから、言うてみればこっちでここで打ち切りみたいになったというふうに聞こえたんですけども、今年度以降はまだ対象者はおられるということなんですか。希望者というか。

**長瀬上下水道課長** この事業につきましては、令和元年から3年までの3か年ということで実施しております。今年度においても補助金の申請がございまして、補助しております。来年度についても実施する計画でございます。

**古沢委員** 希望は聞いておられるんげ。

**長瀬上下水道課長** 一軒一軒については希望は聞いておりません。ただ、町内会長さんとかそういうほうには、こういう事業があるのでということでご紹介、お願い等しております。

**古沢委員** 趣旨は公共下水道の管理が行かないところもということで、これに力を入れようということだったと認識しているんですけど、その目的というか目標というかにはまだもうちょっとだと、こういうことですか。届いていないと。

**長瀬上下水道課長** 一応3か年でということですので、3か年で何基という目標でやっているものでございます。



古沢委員 目標を聞かせて。

長瀬上下水道課長 既設の単独、あとくみ取りからの転換として67基ということで設定しております。

古沢委員 今のところでいうと、この設置基数の28の中には単独から切り替えた人も含まれていると、こういうことでいいのかな。主要政策報告書では撤去が18になっていますけど、単独と撤去が18、設置基数が5人、7人、14人、合わせて28基というふうになっているんですけども、この28基は新設ではなくて切り替えたものも含めてという意味ですよね。

長瀬上下水道課長 内訳につきましては、単独からの合併が22基、あとくみ取りからの転換が5基、あと新築の方が1基です。

古沢委員 その60というのは切替えも新設も含めて60だったけ、3か年で。

長瀬上下水道課長 新築を除いてということです。

古沢委員 単独、くみ取り、切替えで60という。

長瀬上下水道課長 67でございます。

古沢委員 いいわ。後からちょっと聞くちゃ、個別に。

岩城委員長 そのほか。

(質疑する者なし)

岩城委員長 ないようなら、本日の日程はこれまでといたしたいと思います。

本日は、これをもって散会といたしたいと思います。

当局の皆さんにはお疲れさまでございました。委員の皆さんには現地視察について協議を行いますので、残っててください。

午後4時01分閉会

岩城委員長 一日お疲れさまでございました。

17日の現地視察について協議を行いたいと思います。

皆さん方には視察場所についてご希望があれば申し述べていただきたいと思いますが。

青山委員 今日、ゲートボール場の屋根か何かの話があって、屋根の補修をしていたというので、毎年毎年、毎回という話をしていたので、ちょっと見てみたいと思っているのと、あとタラソピアの壁を一回りぐるっと皆さんで。

古沢委員 見るほどのものでもないかもしれんけど、西コミの控室の改修ね。それと、決算の中にも載っていたので、前、中川さんが言って、私も個人的には担当課に言っているんですけども、海浜公園の造成工事で456万5,000円出とるがいちゃね。だけど、話を具体的には実は聞いとらんがいちゃ、私らも。私ら知らんだけかもしれんけど。

竹原委員 私、去年、委員長のとときに全部、構想図からみんなもらいました。

古沢委員 私らもらっとらんがいちゃ。私は個人的には文句言うとったがいちゃ。地元の人に聞かれても答えられんがやからさ。

だから、今、既にもう山ができとるがいちゃね。450万執行されとるから、皆さんにもちょっと見ていただきたいと。この間、中川さんも質問しとったけどね。

尾崎委員 委員会協議会で聞けばよかったんに。

竹原委員 委員会じゃ出とらんが。個別に行って今の計画を出せって言ったら、図面ももらいました。

青山委員 やっぱりそうですよね。僕、副委員長をやっていて全然記憶にないし、見てないです。

古沢委員 わしら何も頂いとらんがいちゃ。

竹原委員 今、山削らんならんがでというがを聞いて。

古沢委員 ここが山になって、海が見えんがになった。

竹原委員 多分、絵は持つとるはずだわ。絵、出しとった。今思ったら。

岩城委員長 何か知らんけど、ほかにない？

尾崎委員 産厚建の委員会協議会開こうかな。説明せいつて言おうか。

竹原委員 ただ、あそこは海拔が低いもんだから下水つながれん言うて、トイレどうしようか、どうしようかと言って。

古沢委員 ちょっと余談になってしまうけど、あそこは仮設の水洗トイレが1基あるだけ

ながいちゃ。キャンプ場にするって言うけど、あずまやのところに水道は来とるけど、あそこは結構遠いがいちゃ、施設。それで県への重点要望事項でぽんと出てくるがよ。

青山委員 オートキャンプ場の取扱いについて。

古沢委員 正直言って訳分からん。考えられんわ。

尾崎委員 協議会を開かんならん。

岩城委員長 もしあれなら、ここらあたりを中心に検討したいと思いますので。

古沢委員 取りあえず今の状態だけは。

尾崎委員 もし状況の説明をもらわんならんがなら、委員会協議会開いて説明させて。全員協でもいいがやけどね。

岩城委員長 そうしましたら、副委員長と協議いたしまして、なるべくなら4つぐらいならどういうがでもなるかなという気がいたしますので、ちょっと回る段取りを決めながら、全部が全部入れられるかどうか分かりませんが、その線に沿って視察先を決めたいと思いますので、よろしいでしょうか。

(異議なし)

岩城委員長 では、明日、15日午前10時からでございます。お願いいたします。

以上で正式に解散いたします。

お疲れさまでした。

午後4時06分終了